

2025年12月期 通期

決算説明資料

2026年2月



東京証券取引所

<証券コード：8508>

免責事項および注意事項

- ◆ 本資料に記載された将来情報等は資料作成時点での当社の認識、意見、判断又は予測であり、その実現を保証するものではありません。様々な要因により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- ◆ 説明会および本資料は、当社をご理解いただく為の情報提供を目的としたものであり、当社又は子会社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、正確性を期す為に慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって、生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ◆ セグメント収益は、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含んだ営業収益を表示しています。
- ◆ 親会社の所有者に帰属する当期利益を当期純利益と表示しています。
- ◆ 2025年12月期において、Prospect Asset Management, Inc., J Trust Credit NBFおよびTA資産管理貸付株式会社を非継続事業に分類しております。その為、2024年12月期の「営業収益」「営業利益」「税引前利益」については、組替えて表示しております。
- ◆ 韓国及びモンゴル金融事業で金融事業を営んでおりましたJ Trust Credit NBFの全株式を譲渡し、連結の範囲から除いたことにより、セグメントの名称を「韓国及びモンゴル金融事業」から「韓国金融事業」に変更しております。

2025年12月期 通期決算のポイント

継続成長の日本金融事業が連結業績を牽引

韓国金融事業は順調に改善が進み、計画を上回って着地

**日本金融事業を中心に、東南アジア金融事業を
補完して、連結業績は順調に成長を継続**

**連結の営業利益は前期比46億円の大幅増益となり、
109億円で着地**



- 01 | 2025年12月期 連結決算概要
- 02 | 2025年12月期 セグメント別業績
- 03 | 2026年12月期 業績予想について
- 04 | 2026年12月期 株主還元について
- 05 | 当社グループの主軸事業の企業価値について

2025年12月期 連結経営成績（前期比）

- 営業収益は銀行業の収益減および販売用不動産における販売収益の減少により、減収
- 利益項目は日本金融事業の成長と韓国金融事業および投資事業の改善が進んだことにより、増益

	2024/12 《実績》	2025/12 《実績》	前期比
営業収益	1,273億円	1,242億円	-31億円
営業利益	63億円	109億円	+46億円
税引前利益	86億円	116億円	+30億円
当期純利益	60億円	79億円	+19億円

※億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。

2025年12月期 連結経営成績（計画比）

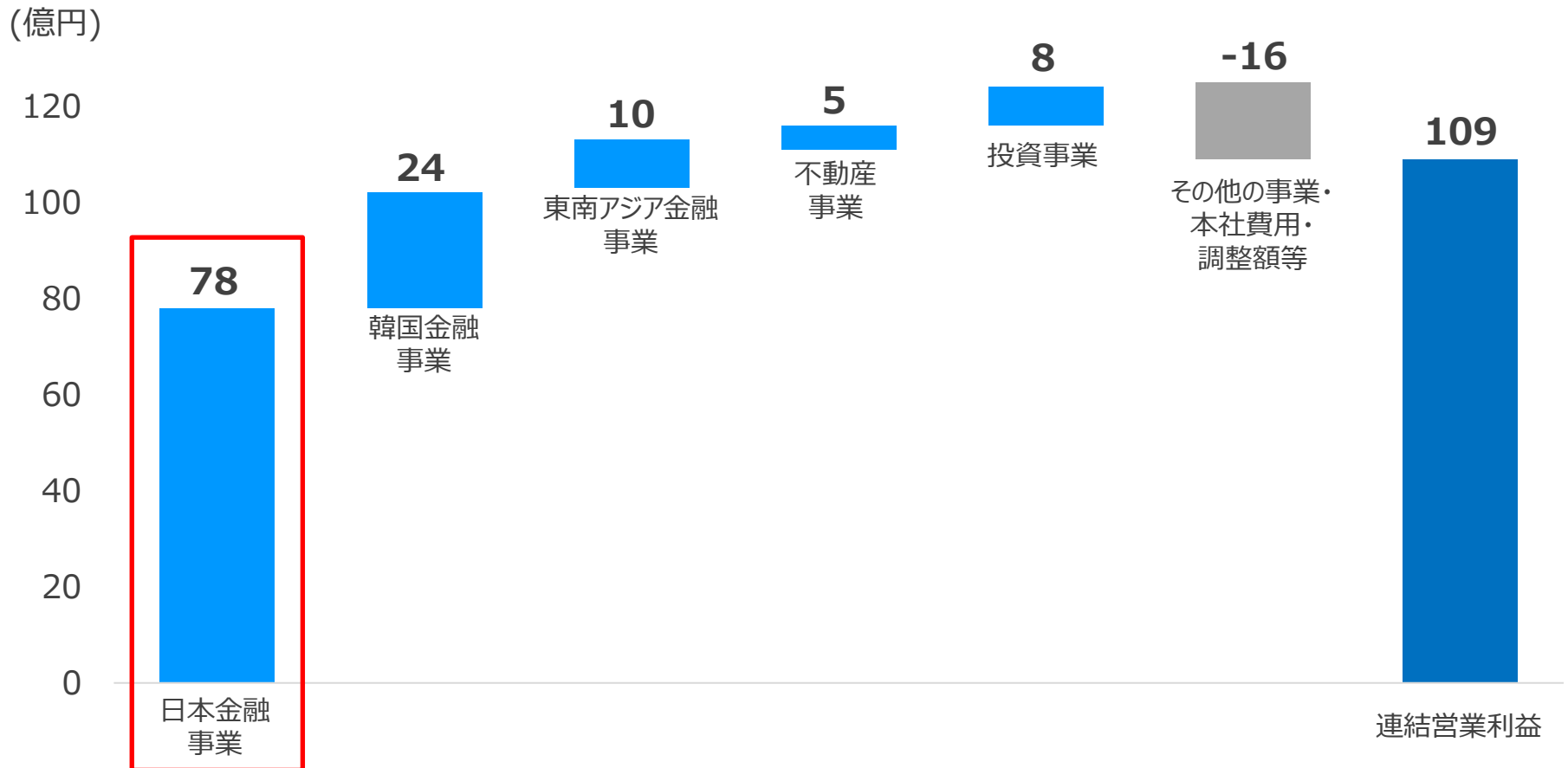
- 営業収益は銀行業の収益減と販売用不動産の売却の期ずれにより、計画値を未達
- 当期純利益は計画値を14億円超過し、79億円で着地

	2025/12 《計画》	2025/12 《実績》	達成率
営業収益	1,351億円	1,242億円	91.9%
営業利益	111億円	109億円	98.2%
税引前利益	119億円	116億円	97.5%
当期純利益	65億円	79億円	121.5%

※億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。

2025年12月期 セグメント別営業利益の構成

➤ 日本金融事業が大きく貢献し、連結業績を牽引



※億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。

事業セグメント別営業利益（計画比）

➤ 日本・韓国金融事業と投資事業が計画値を達成

	2025/12 《計画》営業利益	2025/12 《実績》営業利益	計画比
日本金融事業	74億円	78億円	+4億円
韓国金融事業	17億円	24億円	+7億円
東南アジア 金融事業	30億円	10億円	-20億円
不動産事業	9億円	5億円	-4億円
投資事業	-0億円	8億円	+8億円

※億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。

※本社で行う連結上の調整額は含めず、事業ベースの数値で計画と比較しています。



- 01 | 2025年12月期 連結決算概要
- 02 | 2025年12月期 セグメント別業績
- 03 | 2026年12月期 業績予想について
- 04 | 2026年12月期 株主還元について
- 05 | 当社グループの主軸事業のポートフォリオについて



日本金融事業

Financial business in Japan



日本保証

PARTIR
パルティール債権回収株式会社



Nexus Card

 MIRAI



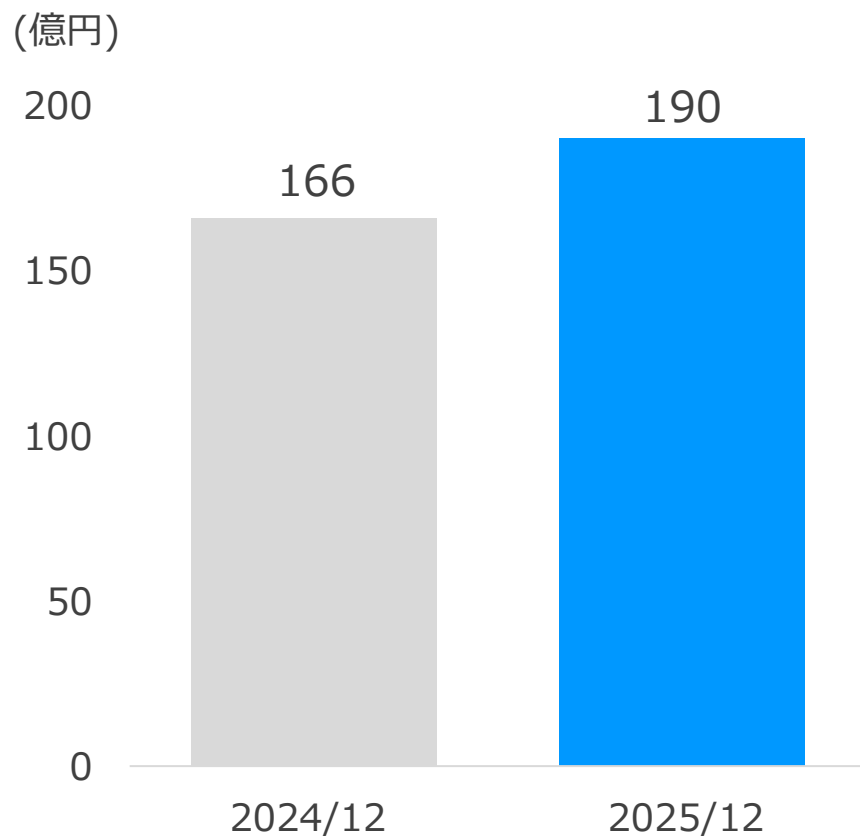
JTG証券

Jトラストグローバル証券

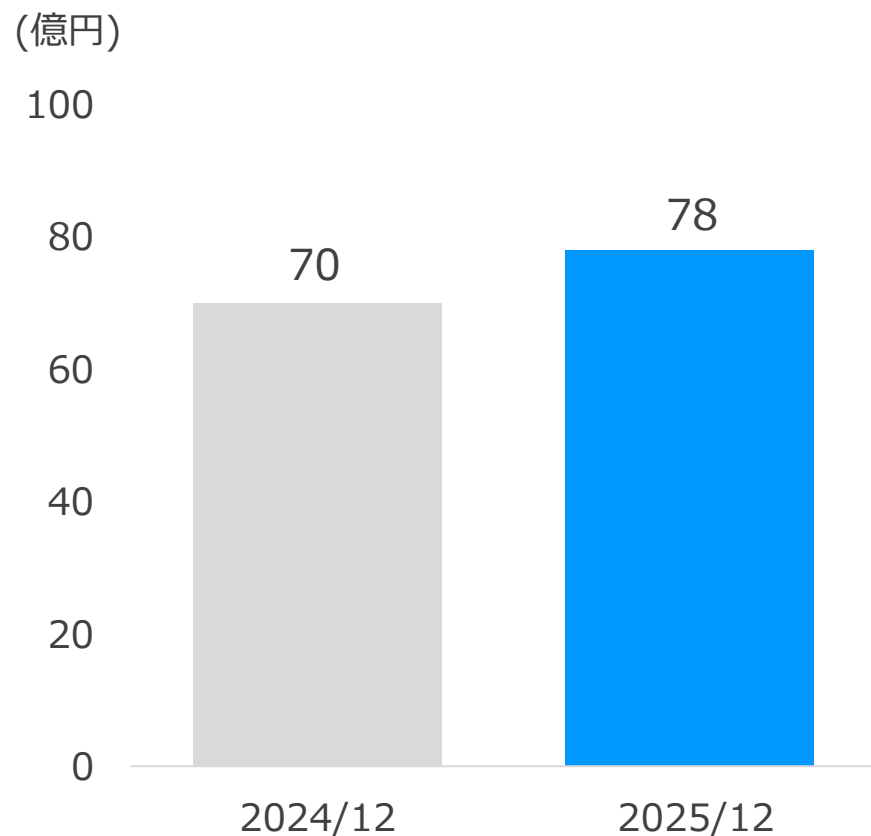
日本金融事業の営業収益と営業利益（前期比）

- 保証事業とサービス事業の好調持続に加え、証券事業と割賦事業による手数料収益の増加により、増収増益
- 引き続き、グループシナジーによる安定成長を図る

営業収益



営業利益





韓国金融事業

Financial business in South Korea

 JT 親愛貯蓄銀行  JT 貯蓄銀行

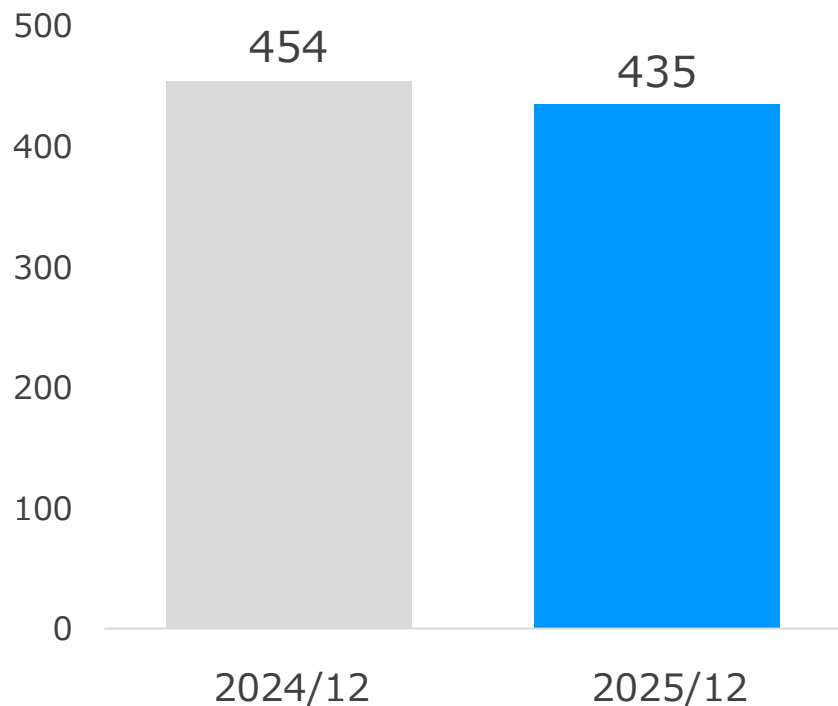
※TA資産管理貸付株式会社は、2025年12月に事業の中止を決定したことを受け、非継続事業に分類しております。

韓国金融事業の営業収益と営業利益（前期比）

- 営業収益は貸出金が増加したにもかかわらず、為替の影響により円換算後の貸出金利息収入が減少したこと等により、減収
- 営業利益は、預金利息費用が減少したことや、不良債権の売却に係る債権売却損が減少したこと等により、前期比14億円増益

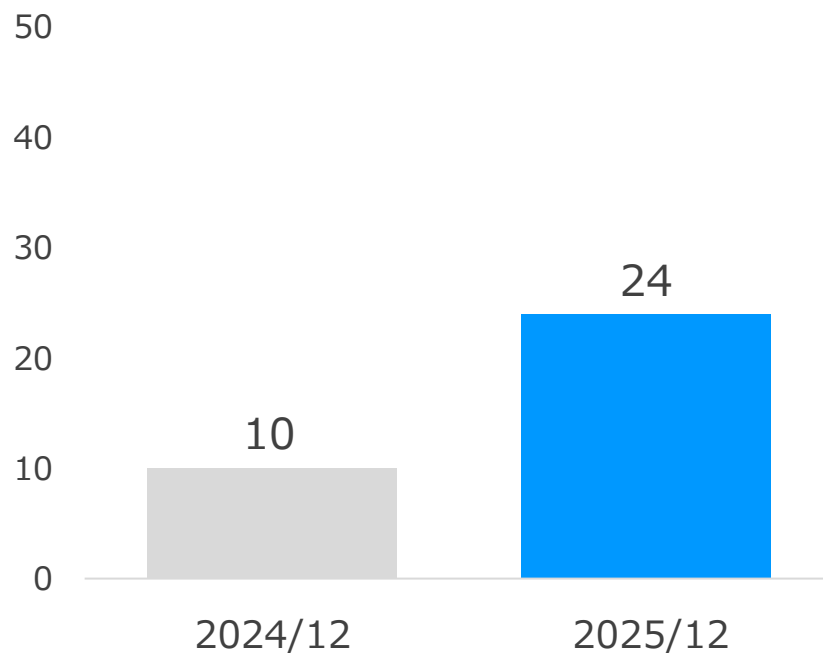
営業収益

(億円)



営業利益

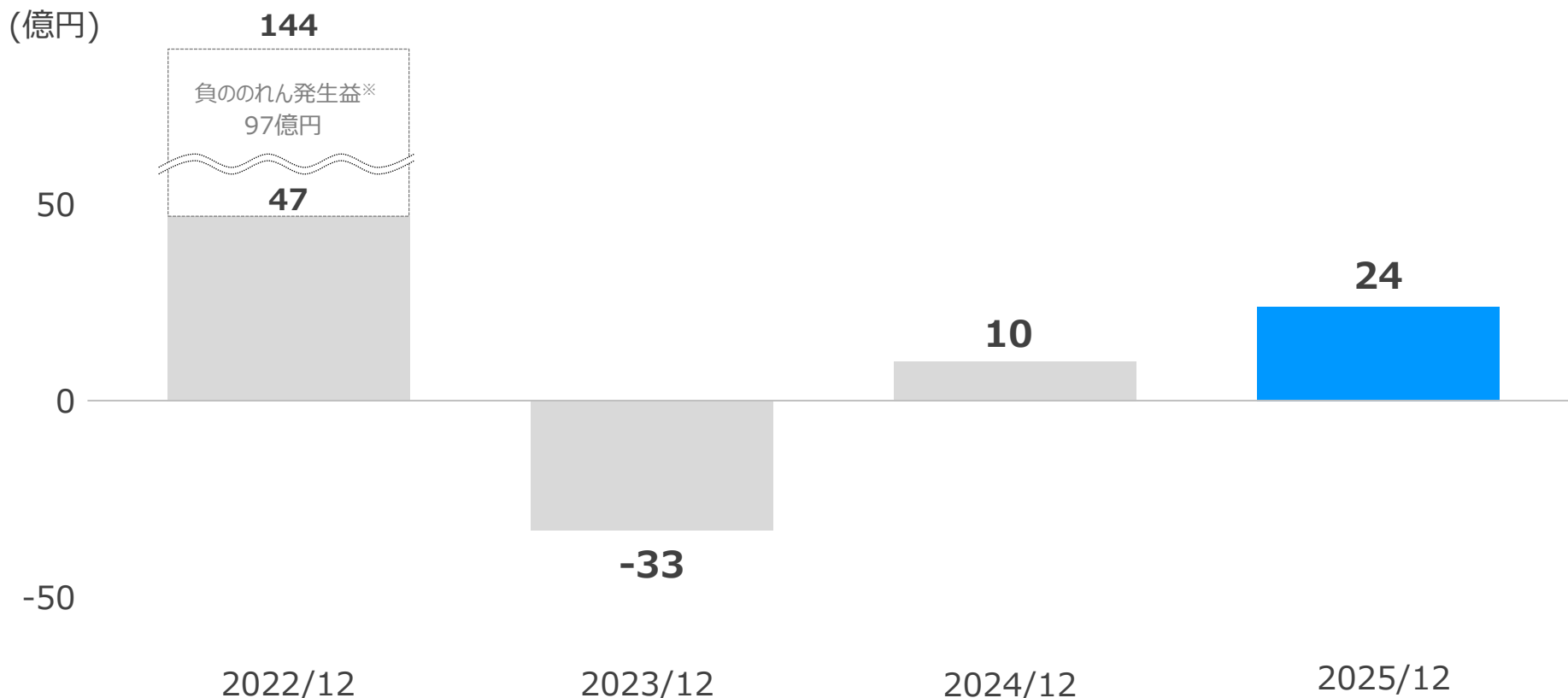
(億円)



韓国金融事業の営業損益の推移

- 韓国金融事業は、2022年秋口に生じた預金コストの増加や韓国景気後退により生じた不良債権の影響等により、2023年度営業損失となるも、与信管理の徹底や審査体制の厳格化等の取り組みにより、貸倒関連費用等が減少する等、順調に回復

営業損益



※2022年4月、Nexus Bank(JT親愛貯蓄銀行)の吸収合併により生じた負ののれん発生益を計上

韓国の貯蓄銀行2行の貸出残高の推移

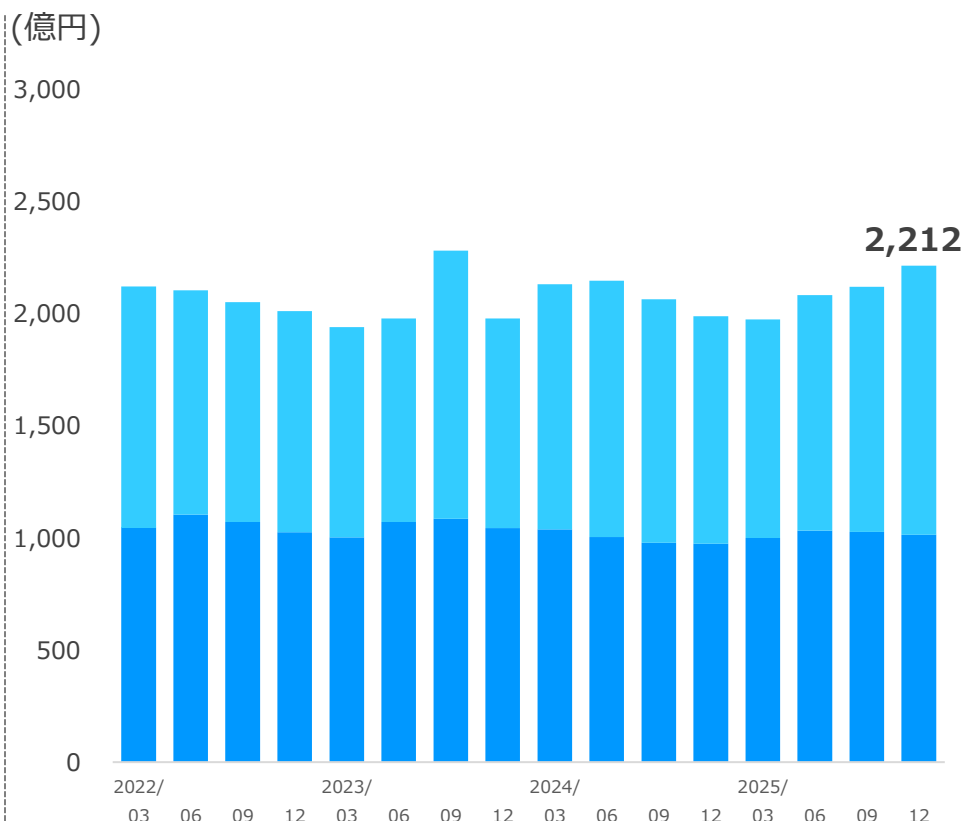
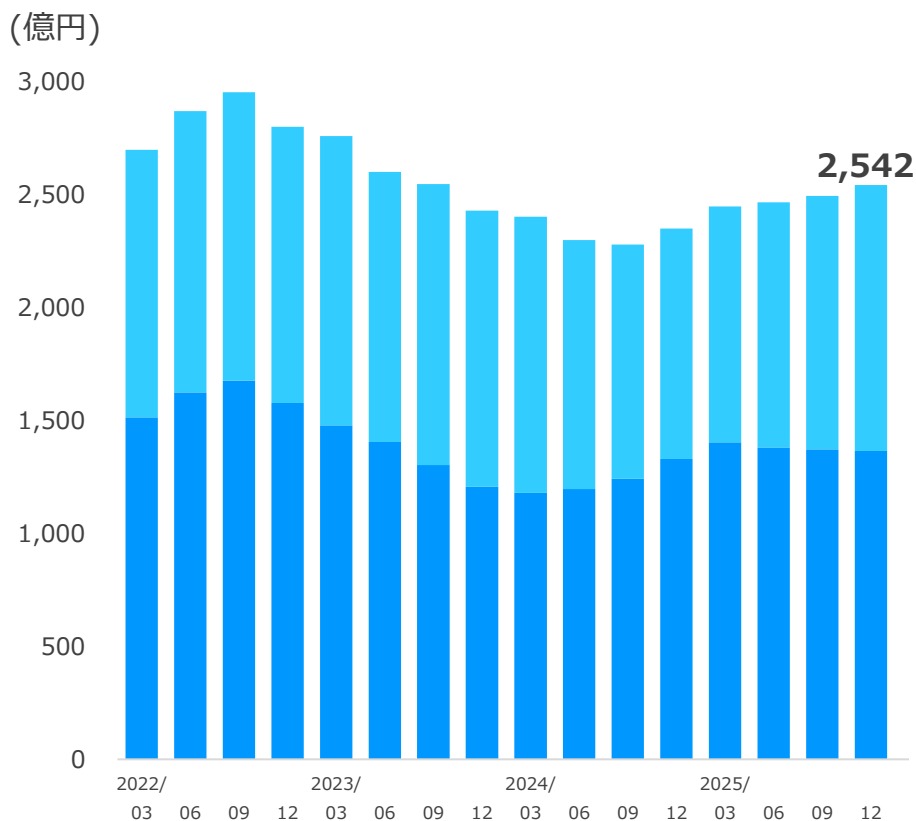
➤ 貸出残高は増加に転じ、引き続き安定的な増加を目指す

■ 個人向け ■ 法人向け

JT 親愛貯蓄銀行

■ 個人向け ■ 法人向け

JT 貯蓄銀行



(※) 数値は現地通貨に2025年12月末レート（1韓国ウォン=0.1094円）を乗じて表示



東南アジア金融事業

Financial business in Southeast Asia

 **J TRUST BANK**
Jトラスト銀行

 J Trust Royal Bank

 **J TRUST INVESTMENTS**
Indonesia

 **TA Asset**
PT TurnAround Asset Indonesia

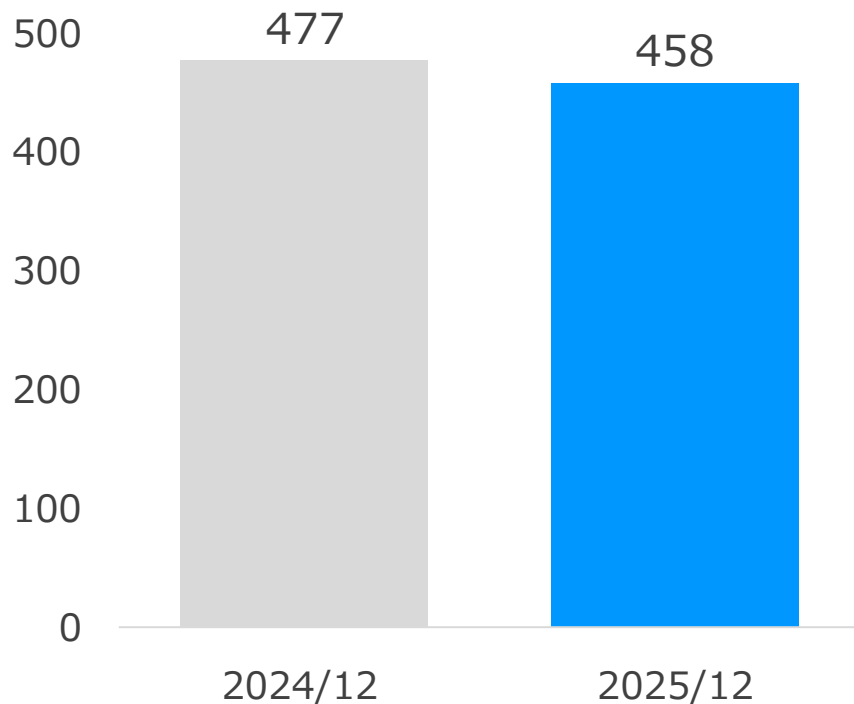
 **J TRUST CONSULTING**
Indonesia

東南アジア金融事業の営業収益と営業利益（前期比）

- 営業収益は、Jトラストロイヤル銀行において貸出金が減少したことに加えて、Jトラスト銀行インドネシアにおける、平均貸出金利の低下等の影響により、減収
- 営業利益は、貸倒関連費用の増加等により、減益となるも、黒字を確保

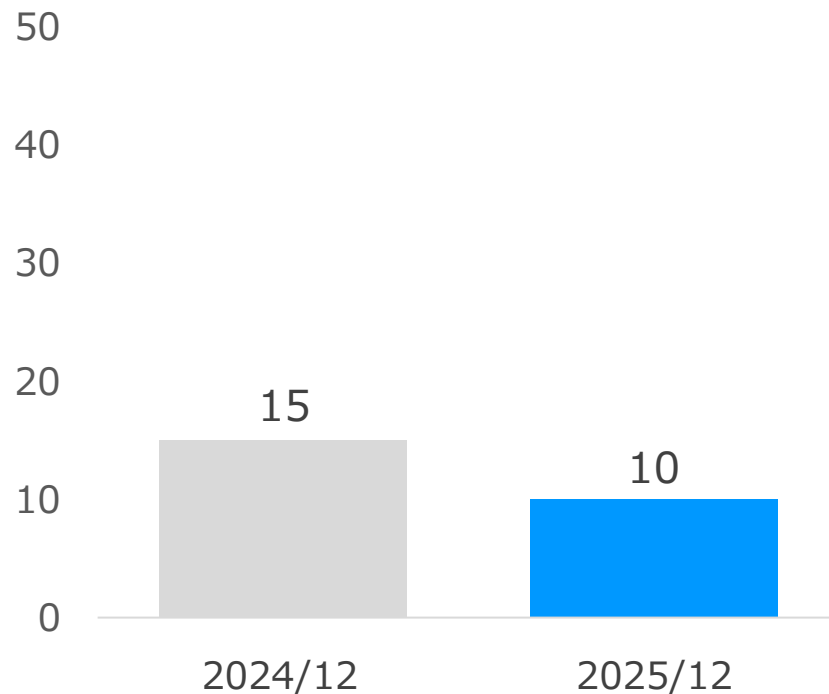
営業収益

(億円)



営業利益

(億円)

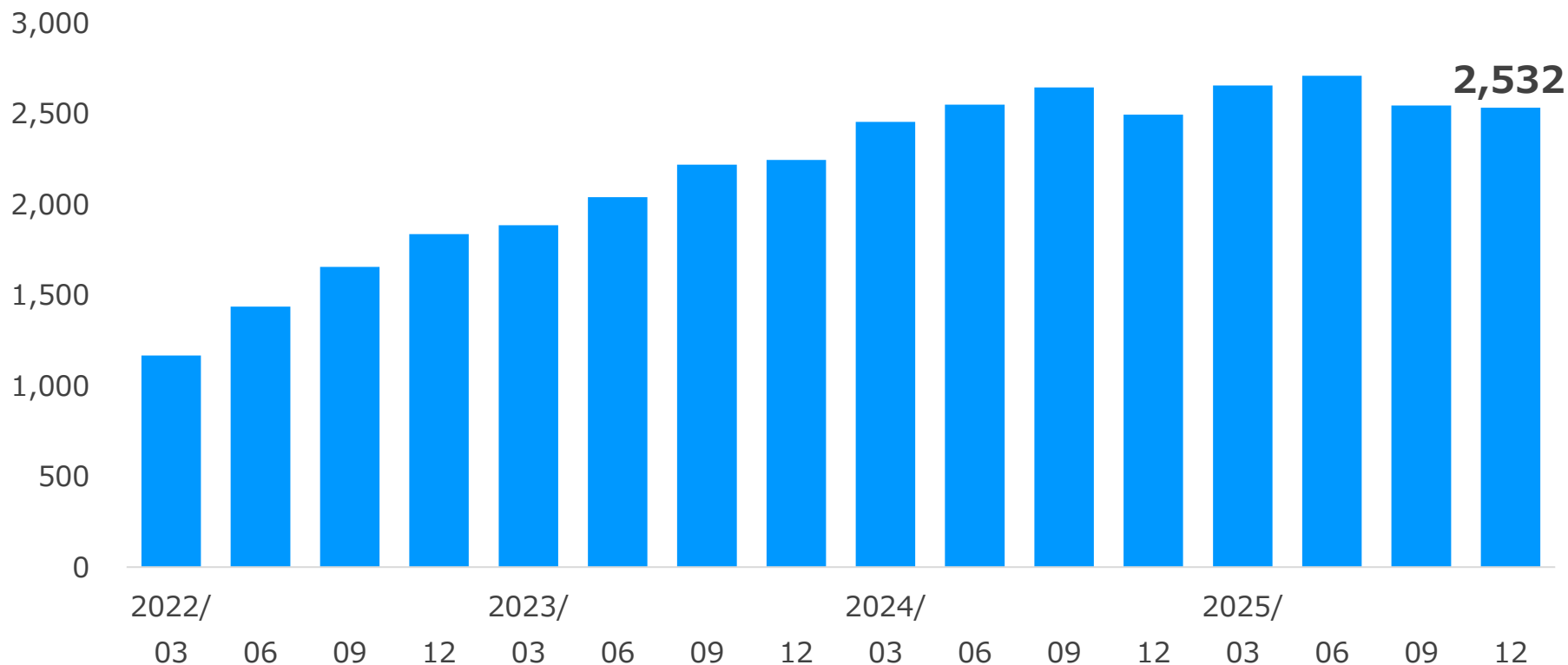


Jトラスト銀行インドネシアの貸出残高の推移

➤ 自己資本比率と経済情勢を踏まえて、貸出残高およびポートフォリオの中身をコントロール



(億円)



(※) 数値は現地通貨に2025年12月末レート（1インドネシアルピア=0.0094円）を乗じて表示

Jトラストロイヤル銀行(カンボジア)の貸出残高の推移

- 2026年度から予定されているカンボジア中央銀行による、自己資本比率規制の強化を踏まえ、貸出残高とポートフォリオの中身をコントロール



(億円)

1,800

1,200

600

0

2022/ 03 06 09 12 2023/ 03 06 09 12 2024/ 03 06 09 12 2025/ 03 06 09 12

1,525

(※) 数値は現地主要流通通貨(USドル)に2025年12月末レート(1USドル=156.56円)を乗じて表示



不動産事業

Real Estate business

 J-GRAND

 gro-bels

 ライブレント

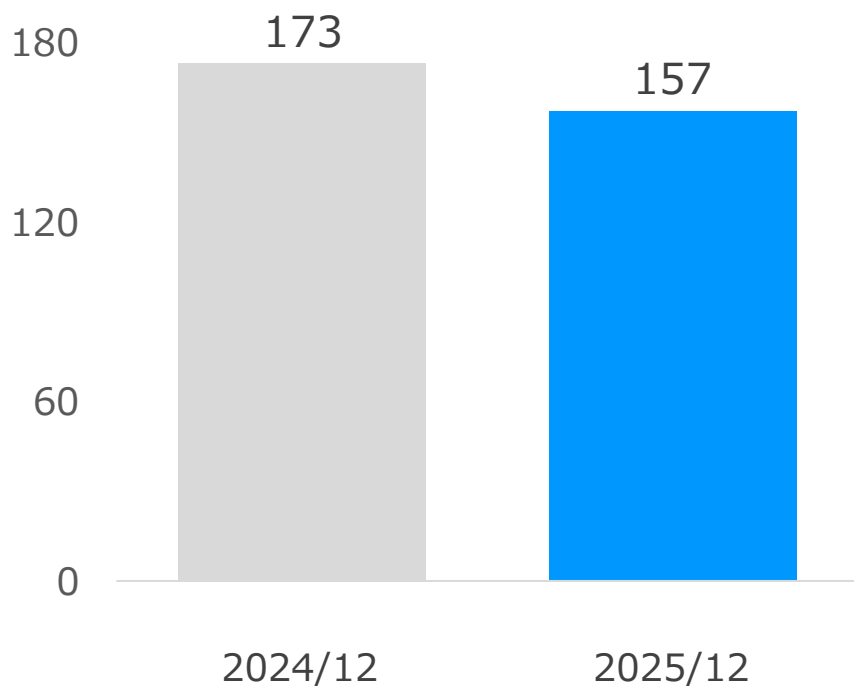
 グランド保証

不動産事業の営業収益と営業利益（前期比）

- 新築物件の建築確認に時間を要し、販売予定物件の売却が期ずれになる等で、前期比減収となるも、販売費用が減少したことにより、営業利益は2億円の増益

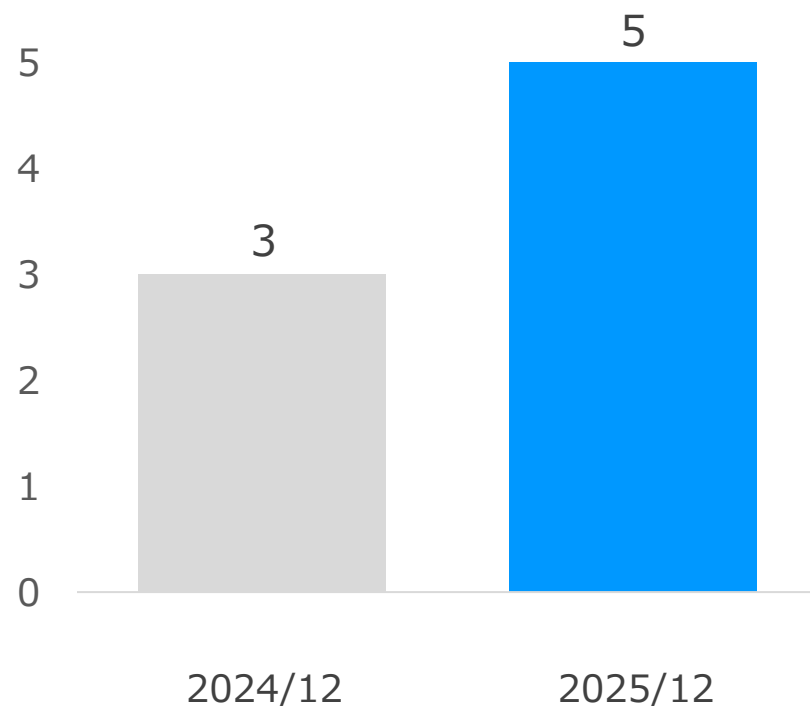
営業収益

(億円)



営業利益

(億円)





投資事業

Investment business

 J TRUST ASIA

投資事業の営業収益と営業損益（前期比）

- 過去の投資から収益回収に尽力したほか、Group Lease PCL経営陣の個人財産の差押え、処分等により、営業損益は前期比23億円の改善となり、8億円の営業利益で着地

営業収益

(億円)

10

5

0

0

1

2024/12

2025/12

営業損益

(億円)

10

5

0

-5

-10

-15

8

-15

2024/12

2025/12



- 01 | 2025年12月期 連結決算概要
- 02 | 2025年12月期 セグメント別業績
- 03 | 2026年12月期 業績予想について
- 04 | 2026年12月期 株主還元について
- 05 | 当社グループの主軸事業の企業価値について

2026年12月期 業績予想について（連結）

➤ 2026年12月期は、増収増益を計画

	2025/12 《実績》	2026/12 《計画》	前期増減
営業収益	1,242億円	1,300億円	+58億円
営業利益	109億円	116億円	+7億円
税引前利益	116億円	117億円	+1億円
当期純利益	79億円	81億円	+2億円

※億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。

2026年12月期 業績予想について（セグメント別）

➤ 日本、韓国金融事業および不動産事業の成長を計画

■ 営業収益

	2025/12 《実績》	2026/12 《計画》	前期増減
日本金融事業	190億円	208億円	+18億円
韓国金融事業	435億円	446億円	+11億円
東南アジア 金融事業	458億円	442億円	-16億円
不動産事業	157億円	195億円	+38億円
投資事業	1億円	4億円	+3億円

■ 営業利益

	2025/12 《実績》	2026/12 《計画》	前期増減
日本金融事業	78億円	94億円	+16億円
韓国金融事業	24億円	38億円	+14億円
東南アジア 金融事業	10億円	-10億円	-20億円
不動産事業	5億円	11億円	+6億円
投資事業	8億円	3億円	-5億円

※ 億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。

2026年12月期 業績予想について（東南アジア金融事業）

- ▶ Jトラスト銀行インドネシアとJトラストインベストメントインドネシアは損失計画
- ▶ カンボジアのJトラストロイヤル銀行は19億円の黒字計画

■ 営業損益

会社名	2025/12 《実績》	2026/12 《計画》
Jトラスト銀行インドネシア (銀行業)	1億円	-8億円
Jトラストインベストメンツインドネシア (債権回収業)	-14億円	-23億円
ターンアラウンドアセットインドネシア (債権回収業)	+0億円	1億円
Jトラストロイヤル銀行 (銀行業)	22億円	19億円
東南アジア金融事業	10億円	-10億円

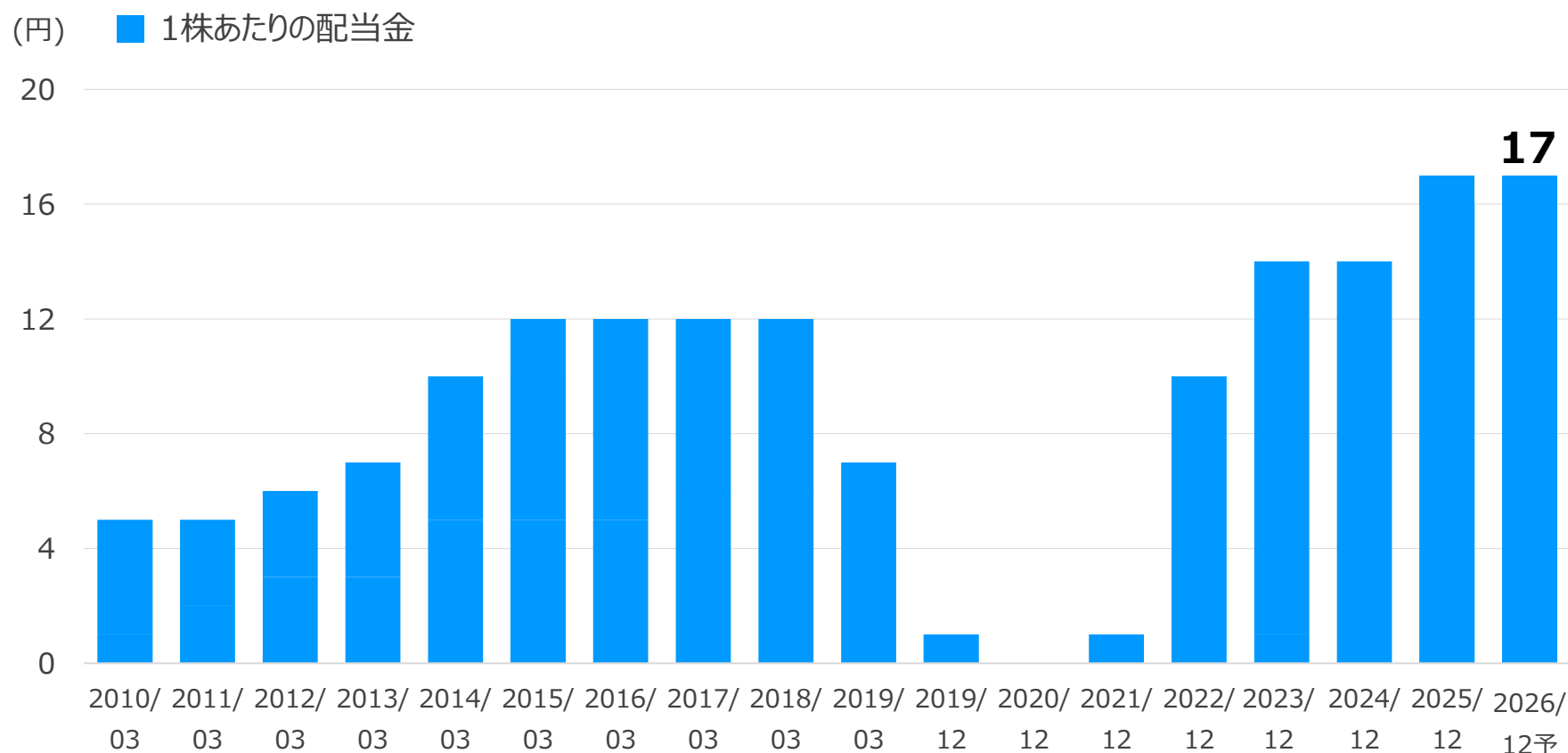
※億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。



- 01 | 2025年12月期 連結決算概要
- 02 | 2025年12月期 セグメント別業績
- 03 | 2026年12月期 業績予想について
- 04 | 2026年12月期 株主還元について
- 05 | 当社グループの主軸事業の企業価値について

株主還元について（1株当たり配当金の推移と予想）

- 2026年12月期の配当予想は期末17円で据え置き
- 引き続き、業績に応じた適切な株主還元を検討



2026年12月期 株主優待

- 2026年12月期（6月末基準）株主優待の内容について（※1）
 【100株以上保有の株主】美容クリニック等で利用できる株主優待券(4種)を贈呈
 【500株以上保有の株主】宝塚歌劇貸切公演の観劇チケットを贈呈予定(抽選方式)
 →2024年度株主優待で導入以降大好評により、今期も東京宝塚劇場(東京都)
 および宝塚大劇場(兵庫県)の2公演開催（※2）することを検討中
- さらに、宝塚歌劇の貸切公演について、2万株以上保有の株主には、応募者にペアチケットを確約、
1万株以上2万株未満の株主には応募者に観劇チケット1枚を確約（※3）するルール新設を検討中

■ 2026年12月期（6月末基準） Jトラスト株主優待（2種類）

保有数[株主優待内容]		時期
100株(1単元)以上 [20%OFF 株主優待券 各1枚]		[有効期間] 2026年10月1日 ～2027年9月末
	DSクリニックメンズ [メンズ・レディース痩身/AGA/美肌施術]	
	レジーナクリニック [医療脱毛/いびき治療/美肌施術]	
	フレイアクリニック [医療脱毛/美肌施術]	
500株以上 [宝塚歌劇 Jトラスト貸切公演 応募・抽選券1枚] (100株保有の 株主優待に加えて)	2万株以上	未定
	1万株以上 2万株未満	
	500株以上 1万株未満	

※1…2026年2月13日付適時開示「2026年12月期の株主優待制度の内容に関するお知らせ」にて公表。

※2…開催については検討段階の為、詳細は追って発表いたします。

※3…会場選択可。東京宝塚劇場はSS席またはS席、宝塚大劇場はSS席またはS+席・S席のいずれか。

※4…上記「抽選応募のルール」を含め、貸切公演開催に関する検討事項については今後変更となる場合がございます。



↑株主優待券イメージ



↑宝塚大劇場（兵庫県）

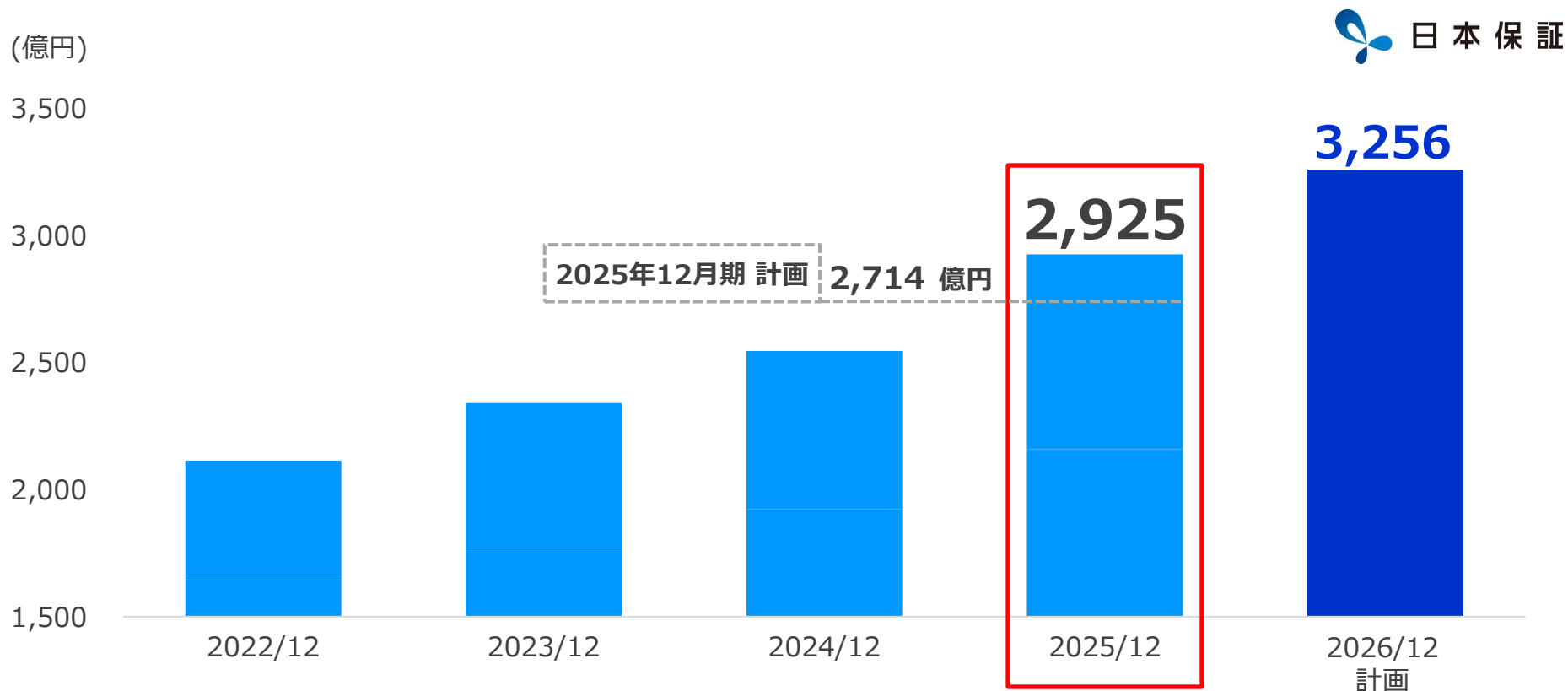


- 01 | 2025年12月期 連結決算概要
- 02 | 2025年12月期 セグメント別業績
- 03 | 2026年12月期 業績予想について
- 04 | 2026年12月期 株主還元について
- 05 | 当社グループの主軸事業の企業価値について

日本保証の債務保証残高の推移と2026年12月期の計画

- 債務保証残高は順調に積み上がり、2025年12月末時点の計画値2,714億円を211億円大幅に超過して2,925億円で着地、2026年12月末は3,256億円を計画

債務保証残高※



※債務保証残高は、保証債務総合計の数値

日本保証の顧客属性ポートフォリオ分析

- 有価証券担保ローン保証の顧客で金融資産5,000万円以上の方が85.60%、うち1億円以上が74.24%、
- 高属性層のニーズに応えるローン保証商品を展開



富裕層向け3商品合計

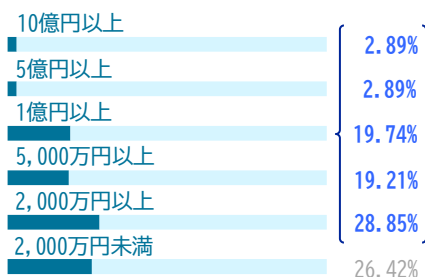
■ 平均年収
5,235 万円

2,000万円以上
77.49%



■ 平均金融資産
15,646 万円

2,000万円以上
73.58%



中古アパートローン

取扱開始：2020. 11

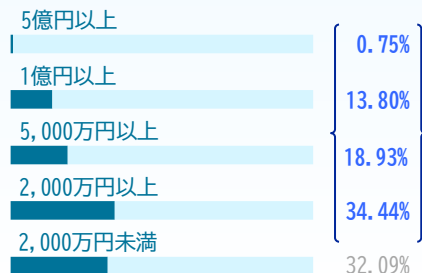
■ 平均年収
4,361 万円

2,000万円以上
76.59%



■ 平均金融資産
5,697 万円

2,000万円以上
67.91%

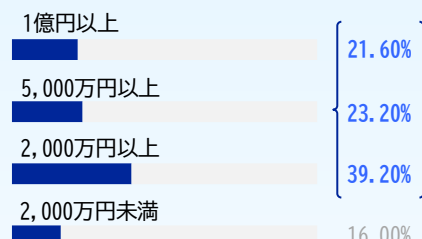


海外不動産担保ローン

取扱開始：2018. 02

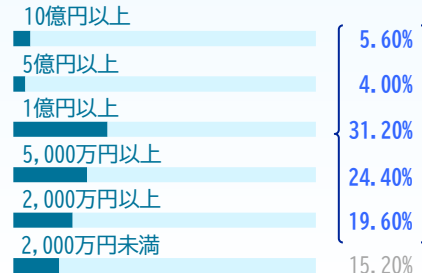
■ 平均年収
8,811 万円

2,000万円以上
84.00%



■ 平均金融資産
28,836 万円

2,000万円以上
84.80%

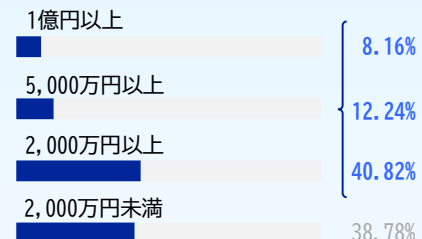


有価証券担保ローン

取扱開始：2023. 01

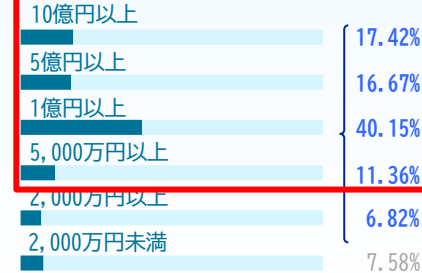
■ 平均年収
3,517 万円

2,000万円以上
61.22%



■ 平均金融資産
61,132 万円

2,000万円以上
92.42%



※各数値は当社実績に基づく分析データであり、グラフは構成比を示します。

日本保証の提携先

- 2025年12月に楽天銀行との「投資用不動産ローン」に関する包括保証契約を締結
⇒2026年初旬に楽天銀行の商品の取り扱い開始予定



※50音順

主な提携先企業



※他3先



同業他社比較で見る日本保証の潜在的企業価値

➤ 日本保証の推定時価総額は700億円超

金額単位：百万円

企業名	日本保証	上場保証会社 A社
営業収益	6,495	10,224
営業利益	4,010	5,103
営業利益率(%)	61.7%	49.9%
当期純利益	2,943	3,491
総資産	40,136	33,014
純資産	22,934	26,391
ROA(%)	7.3%	10.6%
ROE(%)	12.8%	13.2%※2
時価総額 (PER※×当期純利益)	(推定※1) 70,785	83,966

※1 日本保証の推定時価総額は、2026年1月30日時点の上場保証会社A社のPER24.05倍をもとに当社が独自に算出しております。

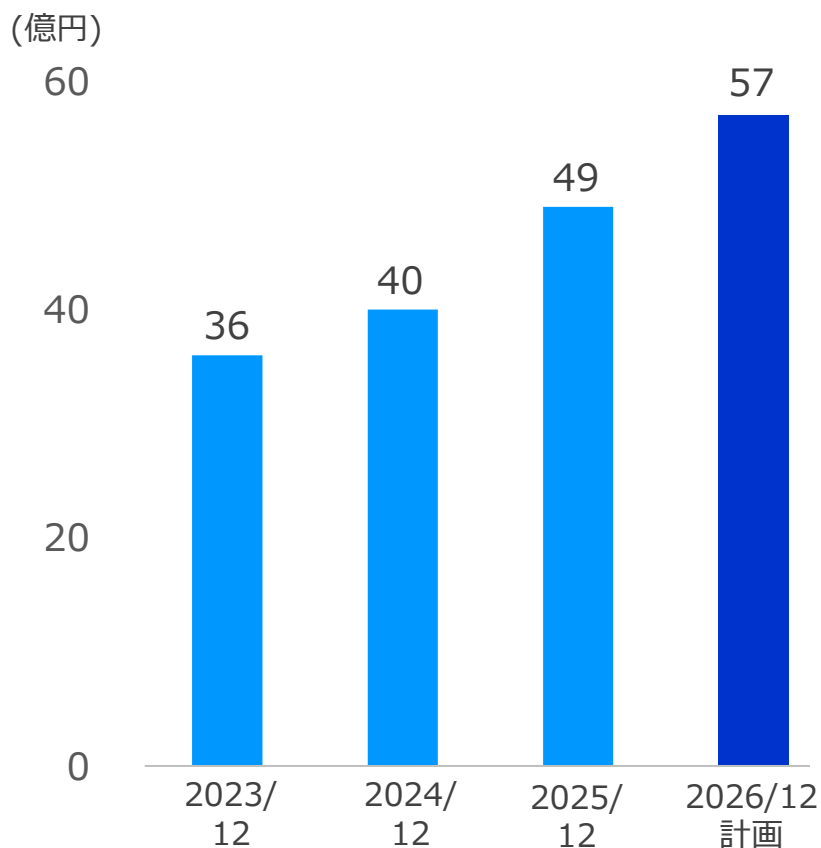
※2 比較対象の為、同じ計算式にて算出

パルティール債権回収の直近3年間の業績推移と2026年12月期の計画

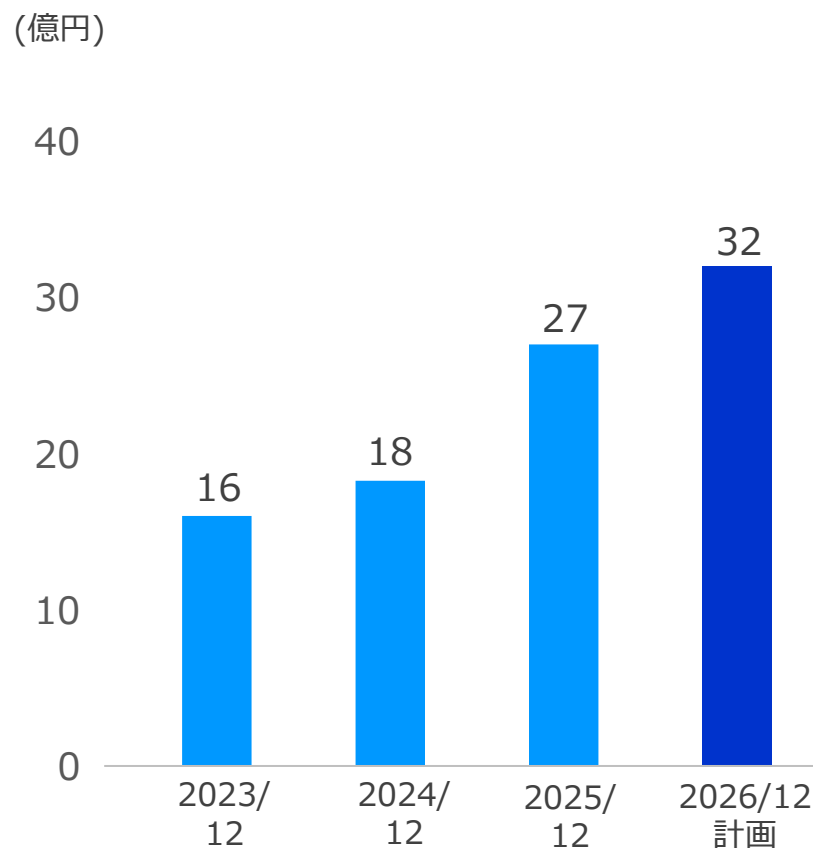
▶ パルティール債権回収の業績は増収増益で継続成長



営業収益



営業利益



サービサー業界におけるパルティール債権回収会社の順位

- パルティール債権回収のROEは、サービサー業界第1位
- 経常利益においても、政府系サービサーを除き、民間では第1位

■売上高順位

(百万円)

順位	会社名	売上高
1	パルティール債権回収(株)	109,584
2	パルティール債権回収(株)	15,366
3	パルティール債権回収(株)	7,928
4	パルティール債権回収(株)	7,912
5	パルティール債権回収(株)	7,735
6	パルティール債権回収(株)	6,634
7	パルティール債権回収(株)	6,623
8	パルティール債権回収(株)	6,517
9	パルティール債権回収(株)	6,431
10	パルティール債権回収(株)	5,378

■経常利益順位

(百万円)

順位	会社名	経常利益
1	パルティール債権回収(株)	5,650
2	パルティール債権回収(株)	3,064
3	パルティール債権回収(株)	2,155
4	パルティール債権回収(株)	1,928
5	パルティール債権回収(株)	1,614
6	パルティール債権回収(株)	1,291
7	パルティール債権回収(株)	1,224
8	パルティール債権回収(株)	1,062
9	パルティール債権回収(株)	893
10	パルティール債権回収(株)	870

■ROE順位

(%)

順位	会社名	ROE
1	パルティール債権回収(株)	28.51
2	パルティール債権回収(株)	27.71
3	パルティール債権回収(株)	25.59
4	パルティール債権回収(株)	23.59
5	パルティール債権回収(株)	22.08
6	パルティール債権回収(株)	17.62
7	パルティール債権回収(株)	17.53
8	パルティール債権回収(株)	17.39
9	パルティール債権回収(株)	16.77
10	パルティール債権回収(株)	15.92

※パルティール債権回収が、独自に他の同業他社の財務諸表等を元に作成した2025年7月31日時点の順位表となります。

※パルティール債権回収グループ分配金含む売上高は、パルティール債権回収単体の回収金にJトラストグループ会社受託の回収金を加えたもの。

※パルティール債権回収グループ分配金含む経常利益は、パルティール債権回収単体の経常利益にJトラストグループ会社受託による利益分配金を加えたもの。

同業他社比較で見るパルティール債権回収の潜在的企業価値

➤ パルティール債権回収の推定時価総額は450億円超

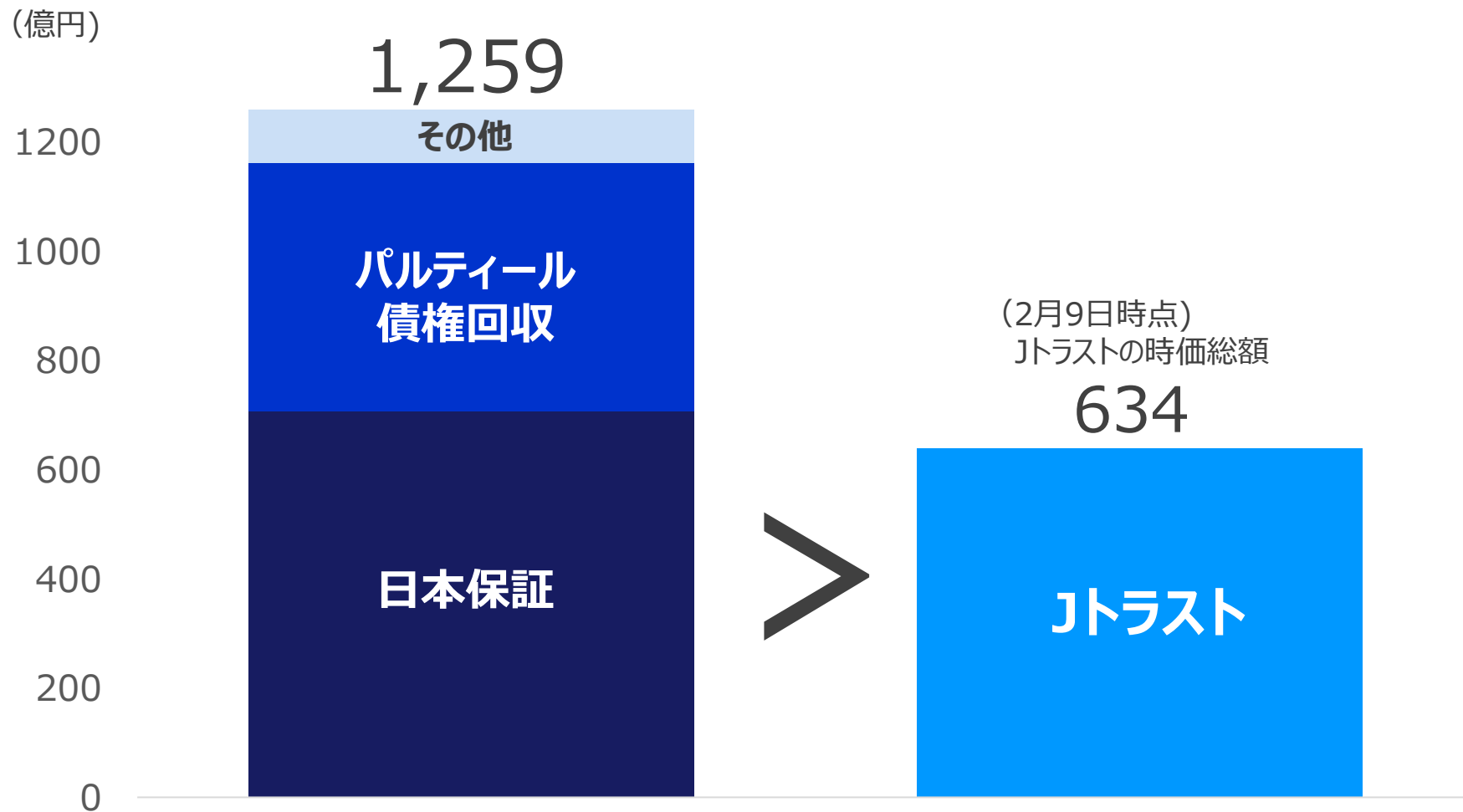
金額単位：百万円

企業名	パルティール債権回収
営業収益	4,930
営業利益	2,720
営業利益率(%)	55.2%
当期純利益	1,888
総資産	13,302
純資産	6,733
ROA(%)	14.2%
ROE(%)	28.0%
時価総額 (PER※×当期純利益)	(推定※1) 45,406

※1 パルティール債権回収の推定時価総額は、2026年1月30日時点の上場保証会社A社のPER24.05倍をもとに当社が独自に算出しております。

日本金融事業の推定時価総額

➤ 日本金融事業の推定時価総額は1,259億円でJトラストの時価総額を625億円上回る



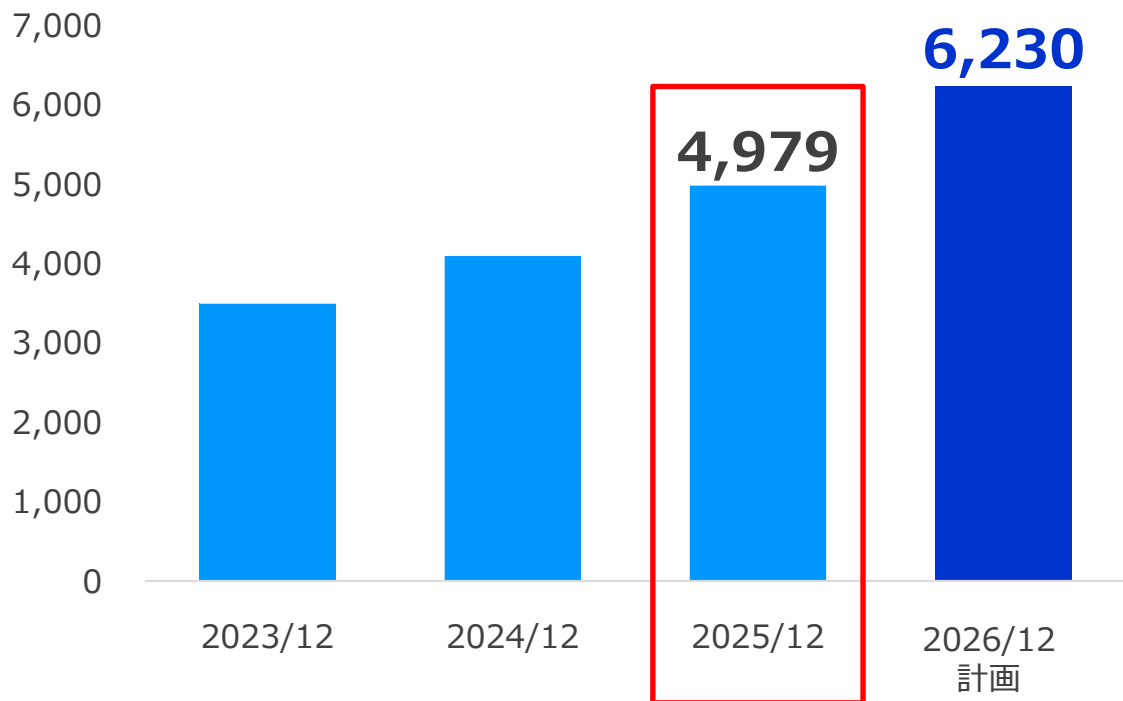
預かり資産の推移と2026年12月期の計画

- 預かり資産は順調に積み上がり、2026年12月末は6,230億円を計画
- 預かり資産約5,000億円のうち、1億円以上預けている顧客の割合が60%、そのうち10億円以上を預けている顧客の割合が28%を占める



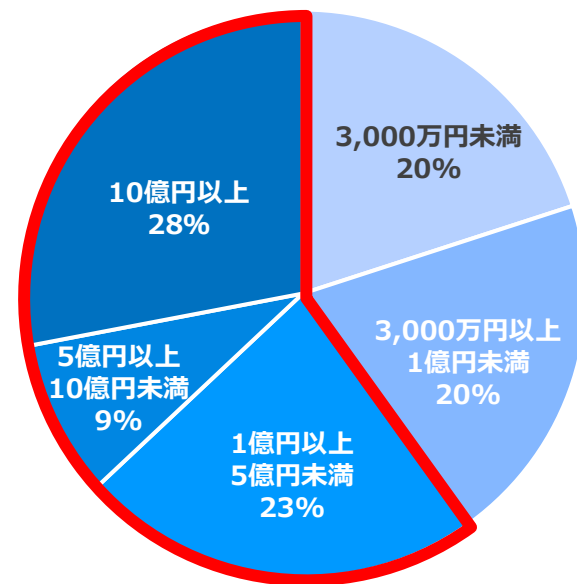
預かり資産残高

(億円)



預かり資産の構成

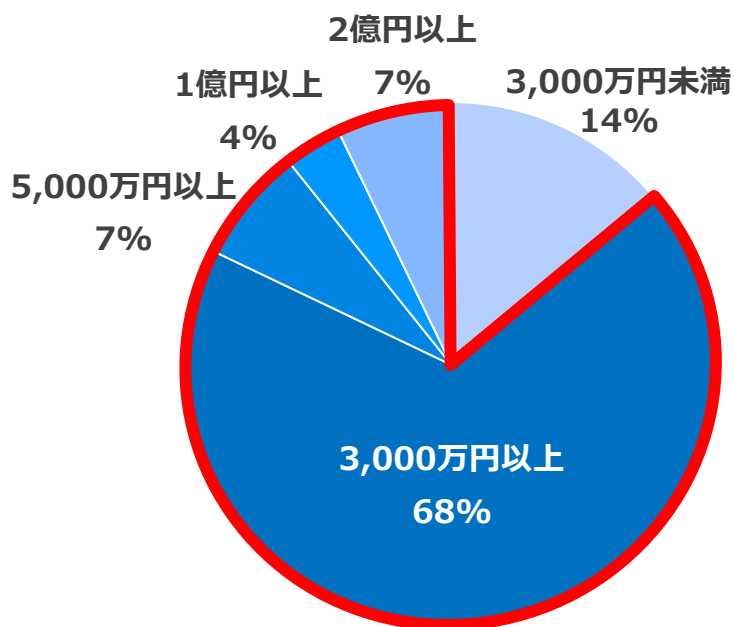
(2025年12月末時点)



**預かり資産1億円以上の顧客が
全預り資産60%を占める**

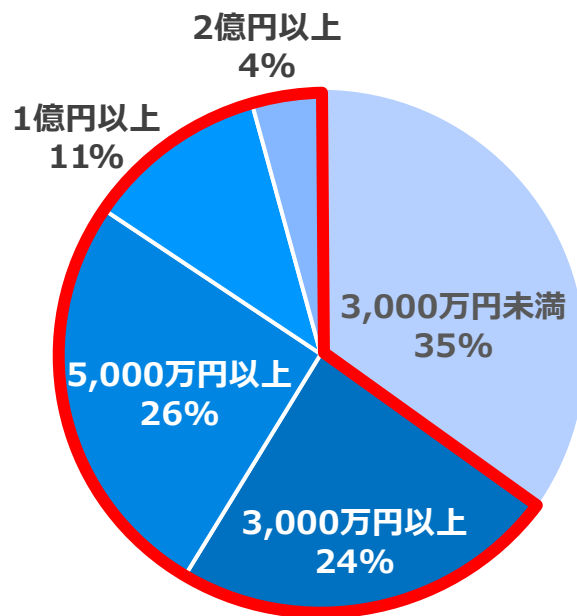
不動産事業:Jグランドの顧客属性

- 新築マンション『J-ARC』購入者のうち、年収3,000万円以上が86%を占めている
- 中古レジデンス『Vintage Residence』購入者のうち、年収3,000万円以上が65%を占めている



年収3,000万円以上が86%を占める

『J-ARC』
購入者の年収

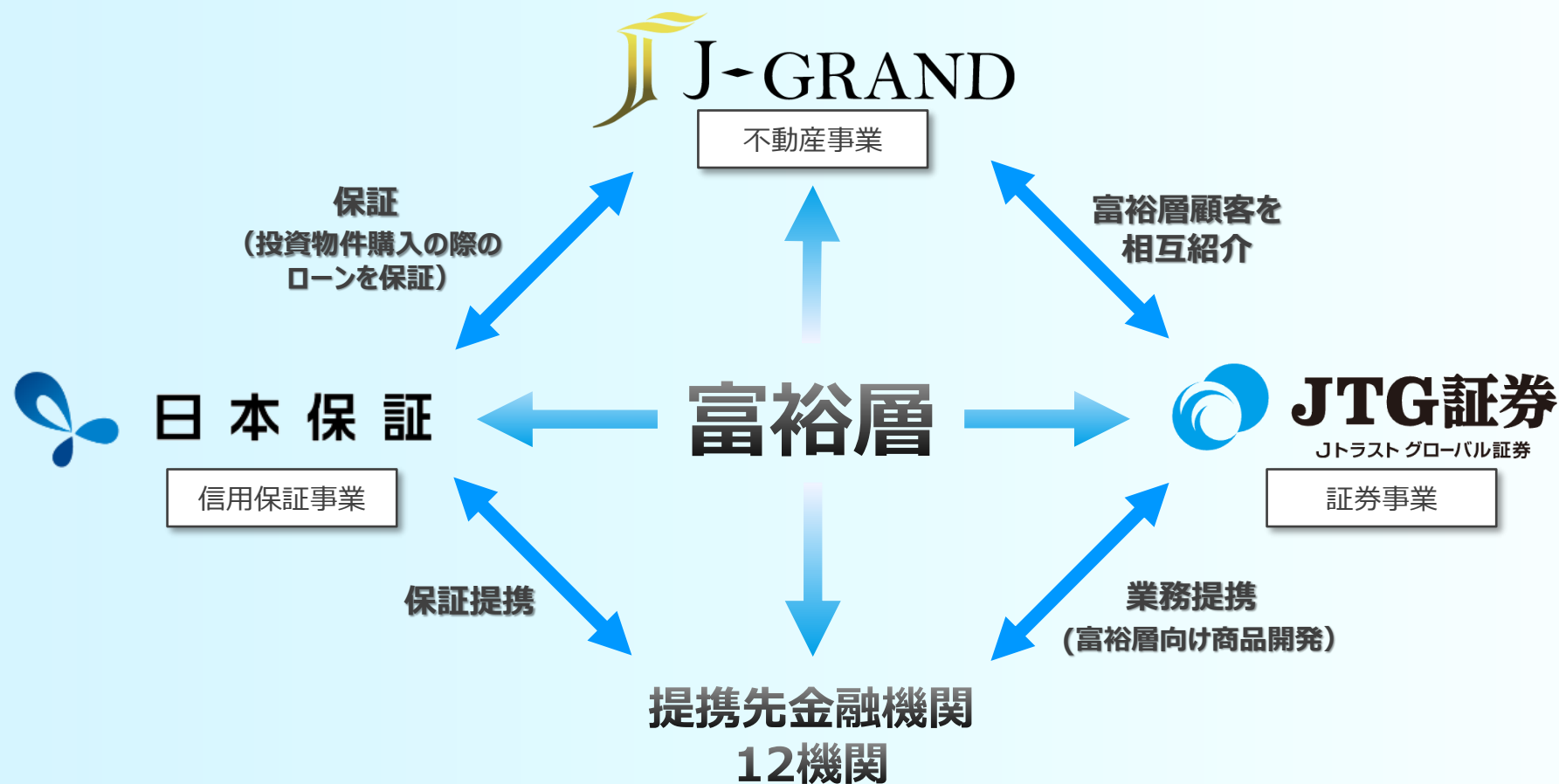


年収3,000万円以上が65%を占める

『Vintage Residence』
購入者の年収

日本金融事業はクロスセルで富裕層ビジネスを拡大

- 日本保証、Jトラストグローバル証券、Jグランドおよび提携先金融機関とのクロスセルを通じて、富裕層向けビジネスを拡大

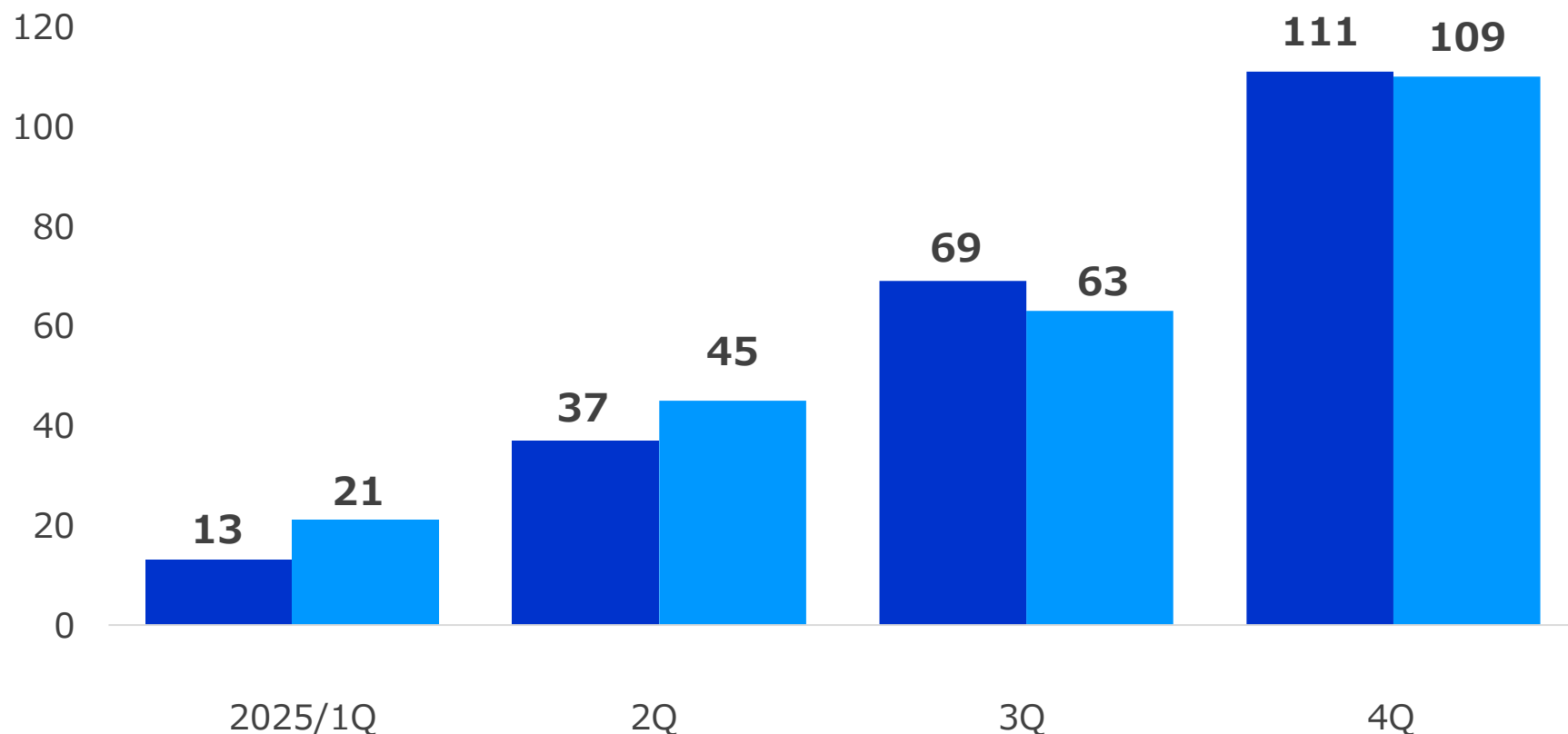


Appendix

2025年12月期 四半期毎の連結営業利益の推移

連結営業利益計画と実績（累計）

(億円) ■ 計画 ■ 実績



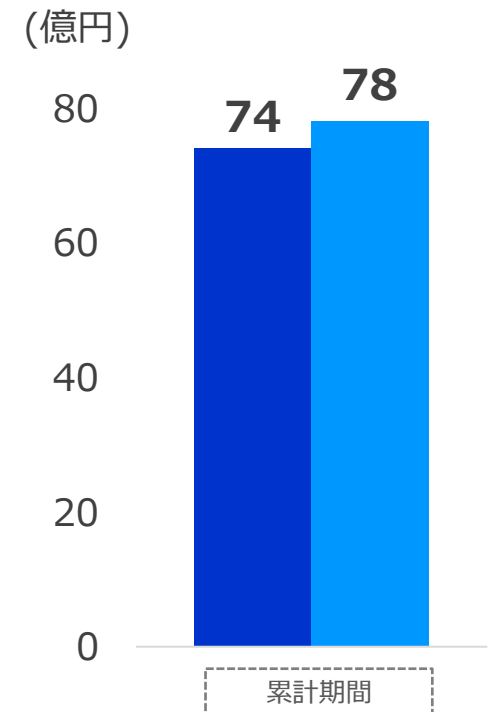
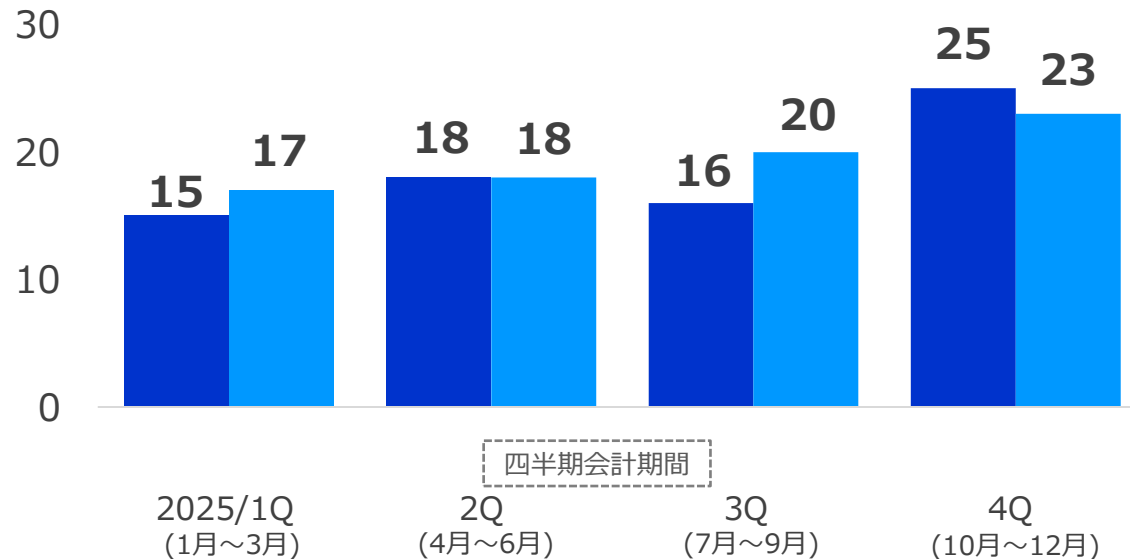
※億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。

2025年12月期 セグメント利益の推移 (日本金融事業)

➤ 4Qは若干計画を未達となるも、通期では計画値を4億円超過して、着地

日本金融事業の営業利益計画と実績

(億円) ■ 計画 ■ 実績



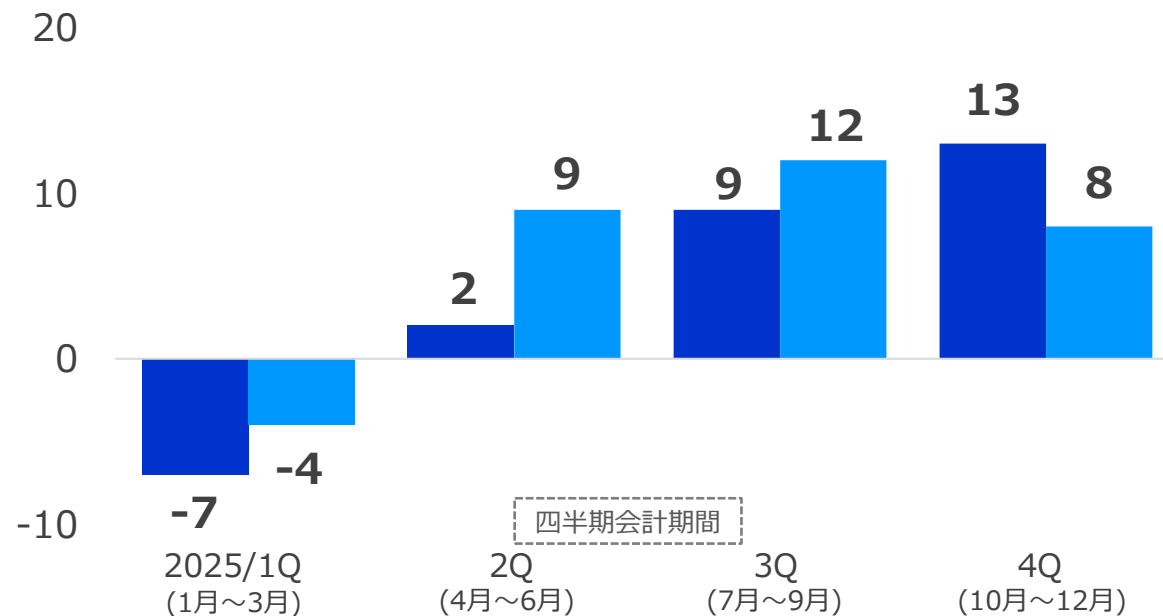
※ 億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。

2025年12月期 セグメント利益の推移 (韓国金融事業)

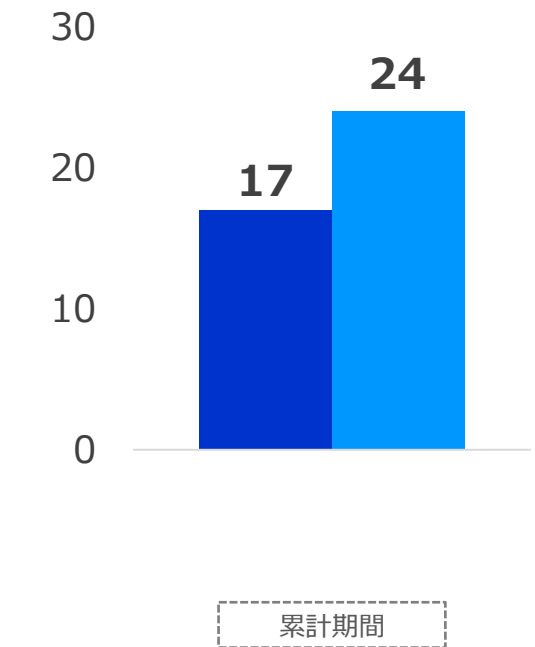
➤ 4Qは貸出金利の低下等の理由により、未達となるも、通期では計画値を7億円超過

韓国金融事業の営業利益計画と実績

(億円) ■ 計画 ■ 実績



(億円)



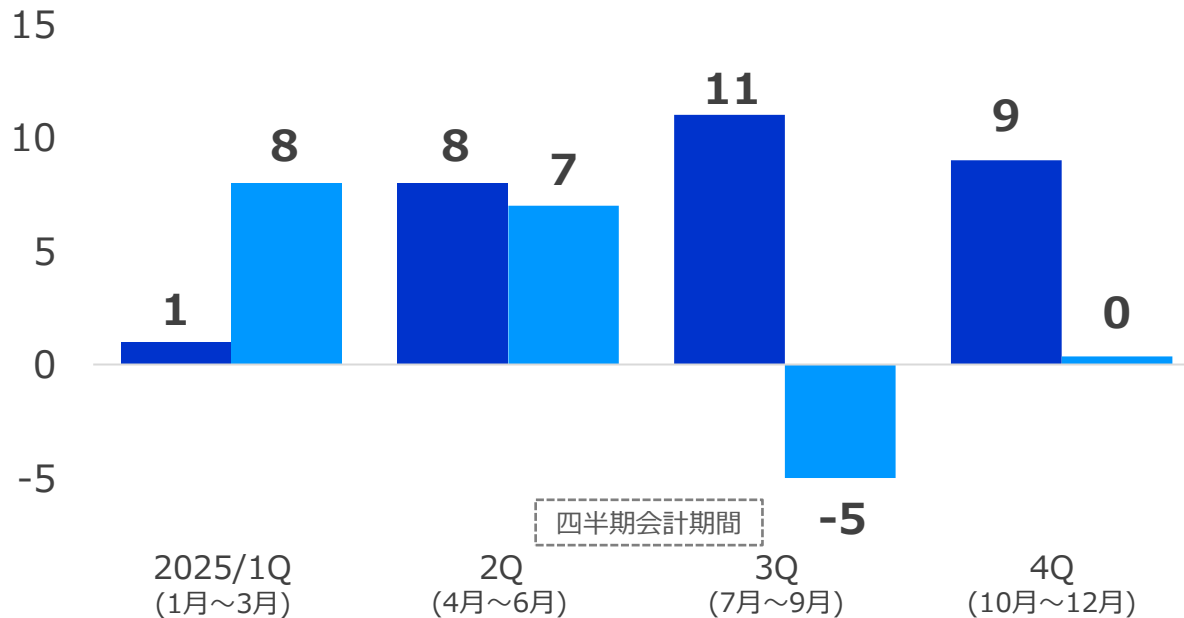
※億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。

2025年12月期 セグメント利益の推移 (東南アジア金融事業)

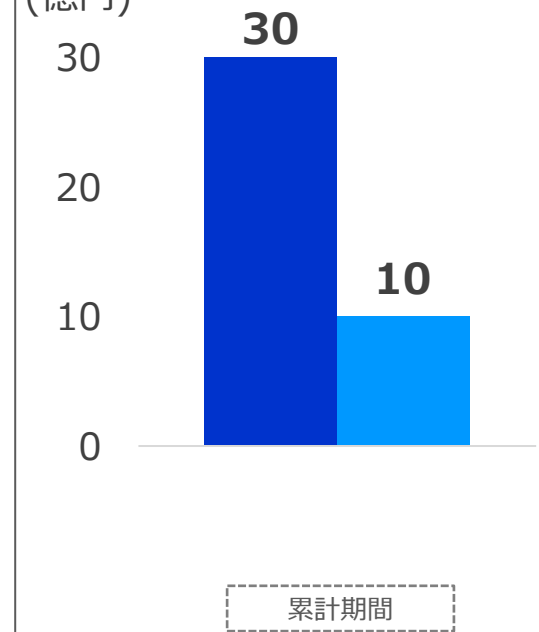
- Jトラスト銀行インドネシアの不良債権処理を実施したこと等により、4Qも計画未達となる
- 不良債権の回収強化等により、業績の回復に取り組み中

東南アジア金融事業の営業利益計画と実績

(億円) ■ 計画 ■ 実績



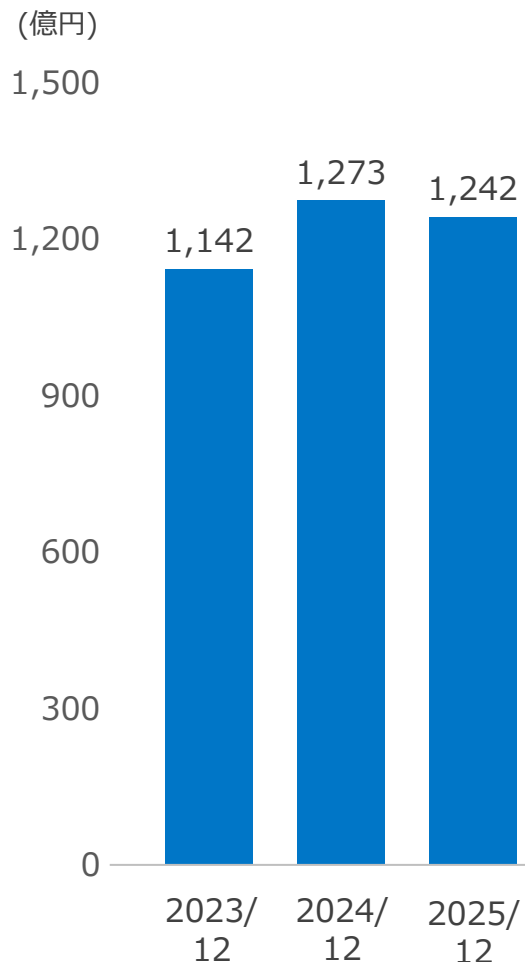
(億円)



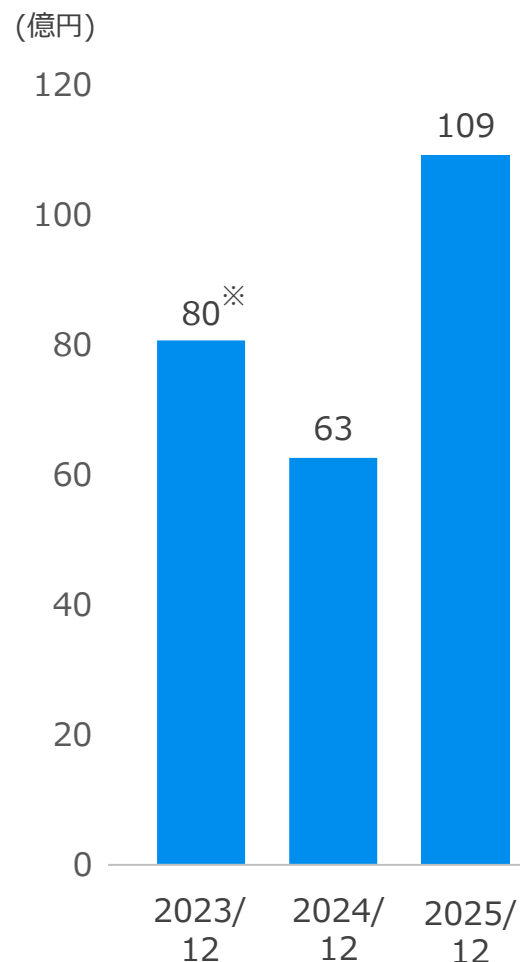
※億円未満を切り捨て表示した数値の差額を億円単位で計算しています。

直近の3年間の連結業績推移

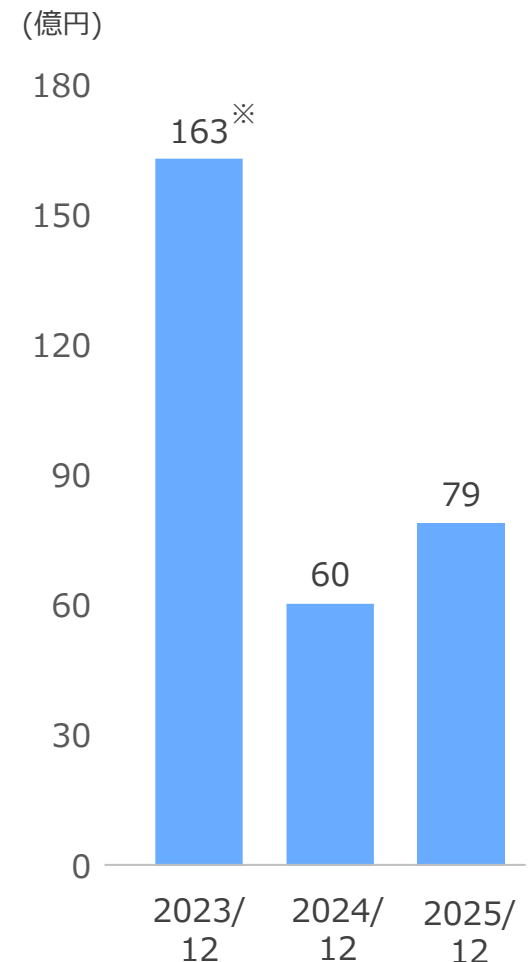
営業収益



営業利益



当期純利益



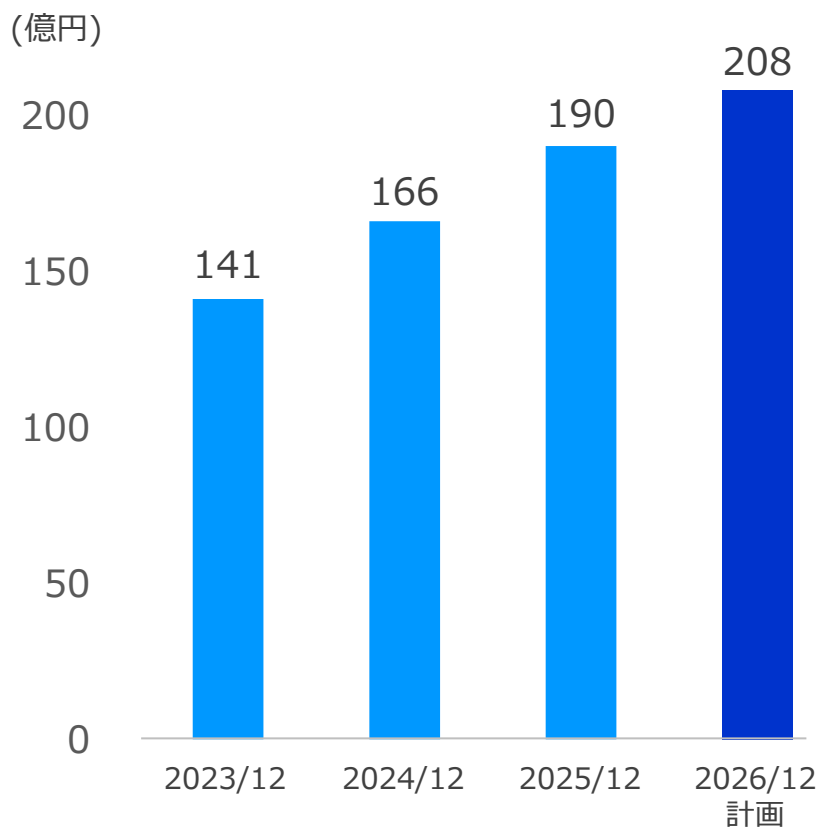
※2023年2月にミライノポート吸収合併により生じた、負ののれん発生益111億円を計上

※2023年4月Nexus Bankの吸収合併により生じた繰延税金負債の取り崩し65億円を当期純利益に計上

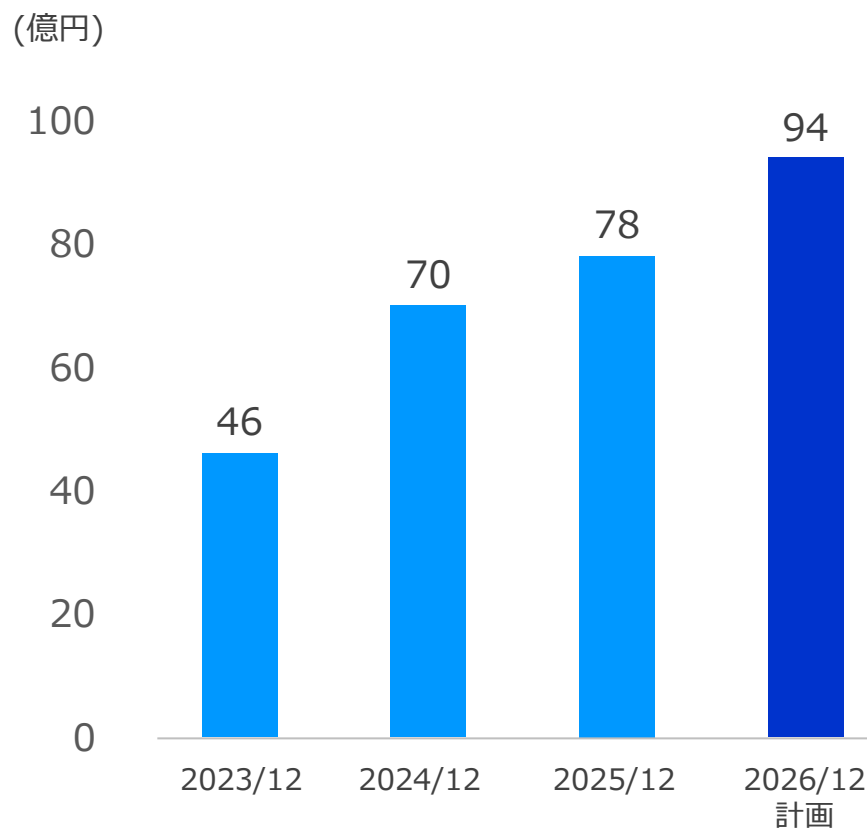
日本金融事業の直近3年間の業績推移と2026年12月期の計画

➤ 日本金融事業は順調に事業拡大し、業績向上が継続する見通し

営業収益

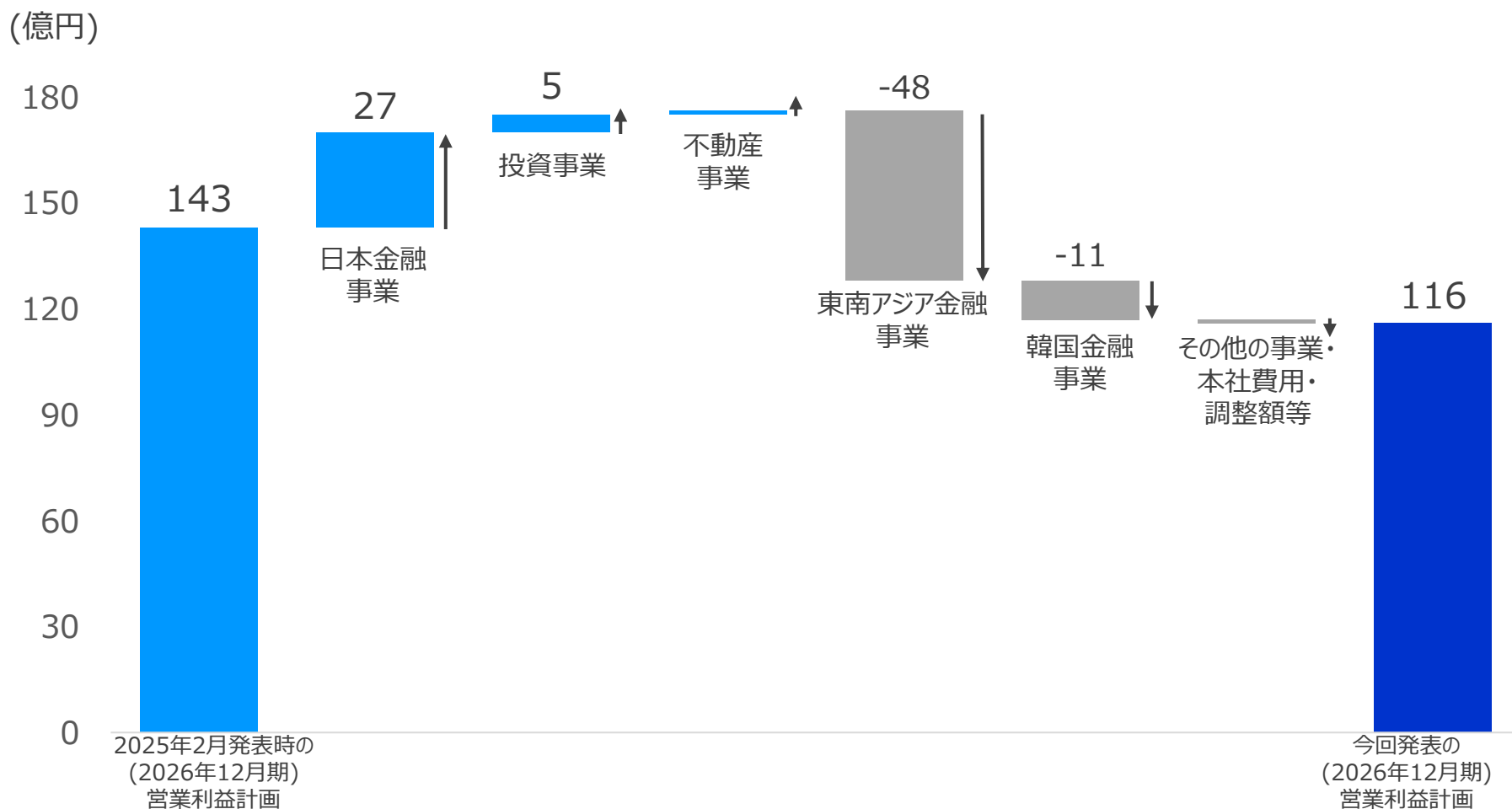


営業利益



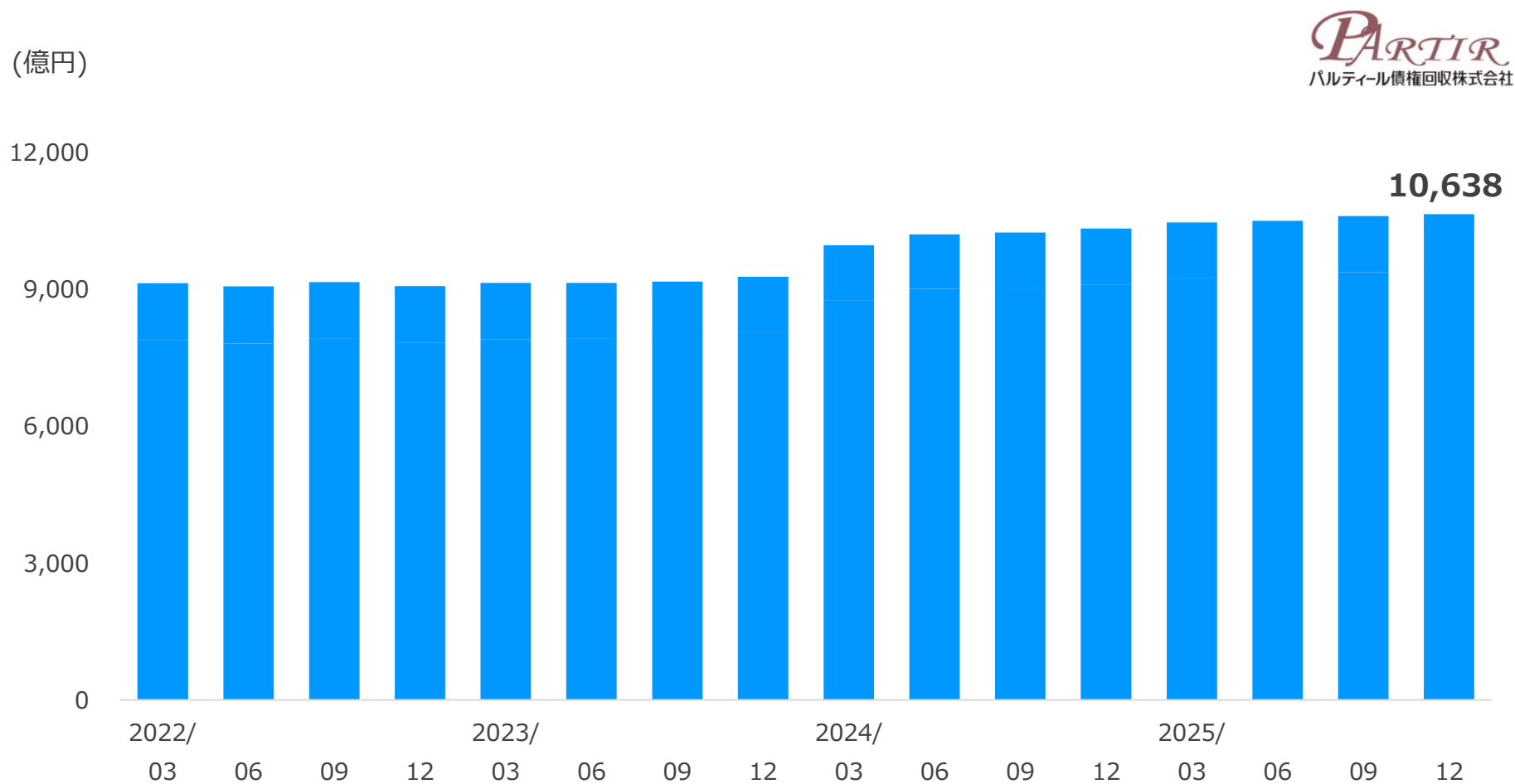
2026年12月期連結営業利益の修正について

- 日本金融事業は上方修正、東南アジアおよび韓国金融事業は下方修正となり、営業利益は116億円を計画



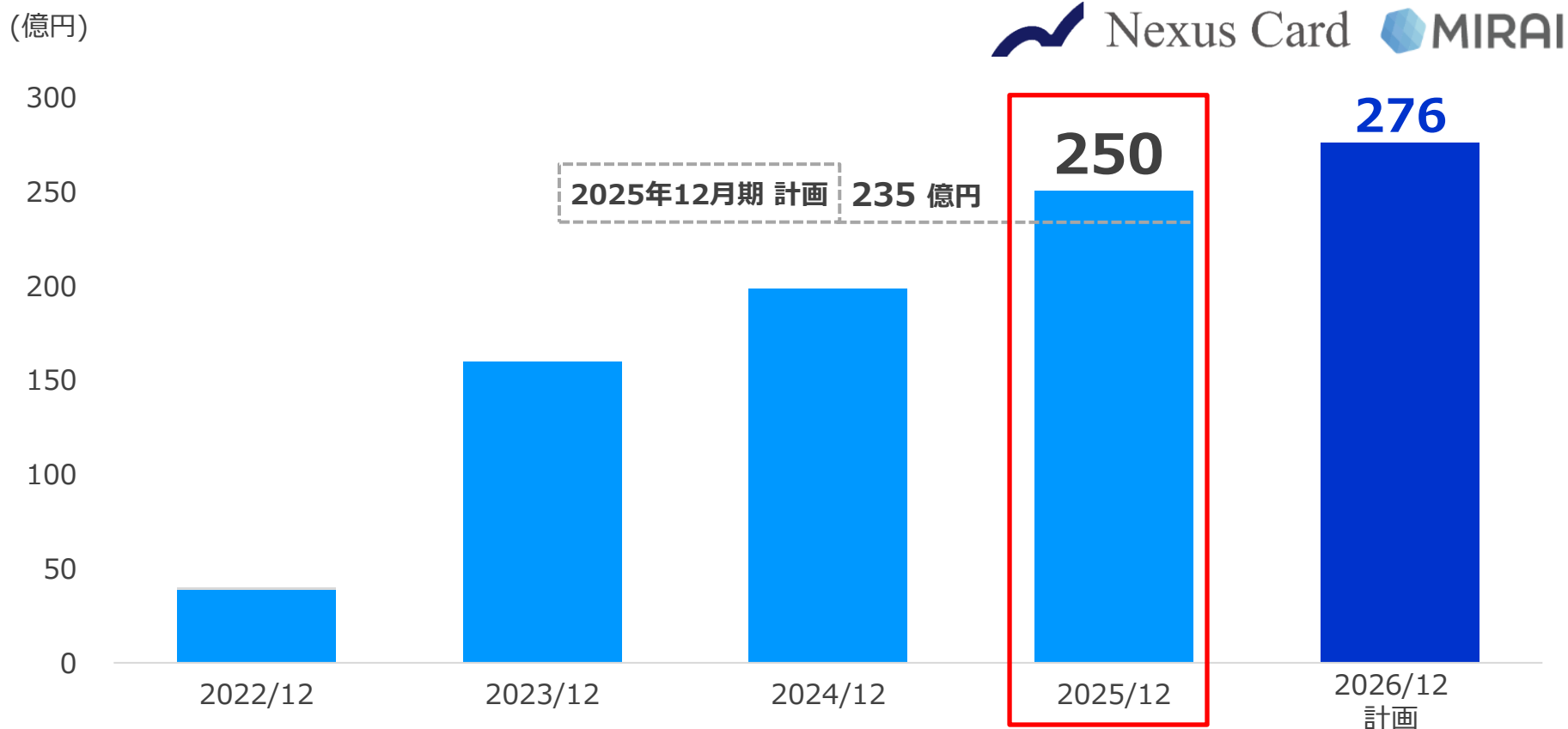
請求債権残高の推移

- 順調に回収が進む中でも債権購入が進み、請求債権残高は増加
引き続き、回収業務に注力し、営業利益増大を見込む



割賦売掛金残高の推移と2026年12月期の計画

- 割賦売掛金残高は脱毛サロンを中心としたエステ系の加盟店の拡大により、順調に積み上がり、2025年12月期の計画値235億円を超過して、250億円で着地
- 既存加盟店の堅調な割賦取扱と新規加盟店の割賦取扱の拡大により、債権残高が増加
2026年度以降も継続的な成長を計画

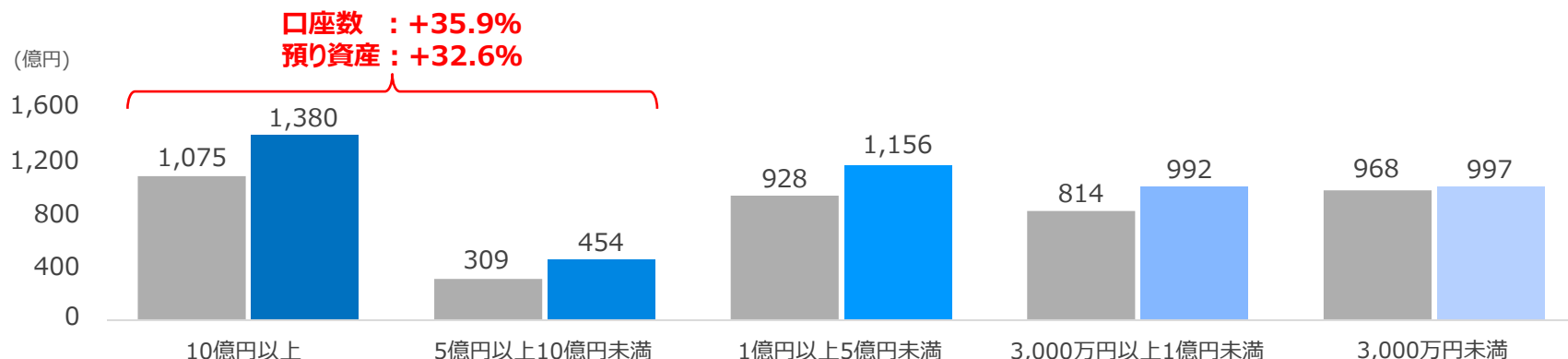


※MIRAIは2023年10月より連結子会社化

JTG証券の預かり資産拡大に向けた顧客構造について

- 預り資産3,000万円以上の顧客をコアターゲットとしてウェルスマネジメントサービスを推進
- 預り資産3,000万円以上の顧客が全預り資産の80%を占有し、昨年対比で口座数22.9%、預り資産27.4%成長
- 特に預り資産5億円以上の顧客は昨年対比で口座数35.9%、預り資産32.6%の成長

預かり資産帯ごとの成長率（2025年12月末時点）

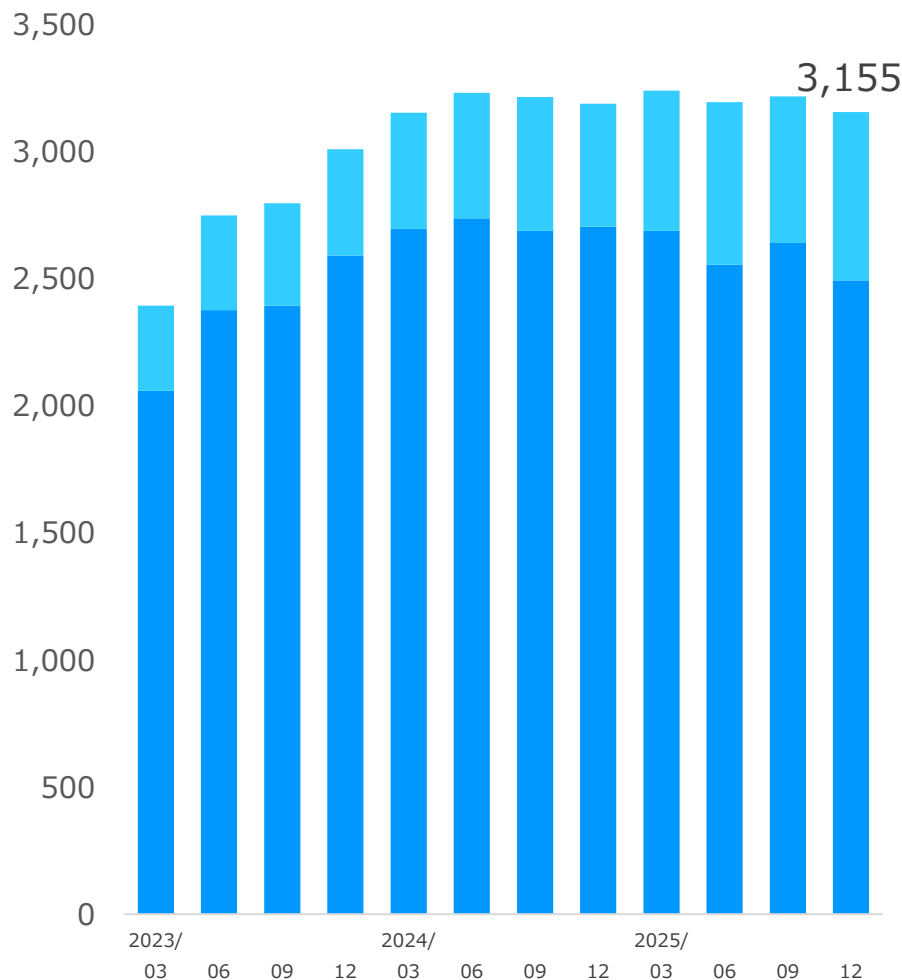


口座毎の 預り資産	口座数		預り資産	
	占有率	前年比	金額 (単位:億円)	前年比
10億円以上	0.05%	+25.0%	1,380	+28.4%
5億円以上10億円未満	0.08%	+43.5%	454	+47.1%
1億円以上5億円未満	0.73%	+26.9%	1,156	+24.6%
3,000万円以上1億円未満	2.38%	+21.1%	992	+21.9%
3,000万円未満	96.75%	+0.8%	997	+3.1%
全体	100.00%	+1.4%	4,979	+21.7%

銀行預金残高（東南アジアの銀行2行）



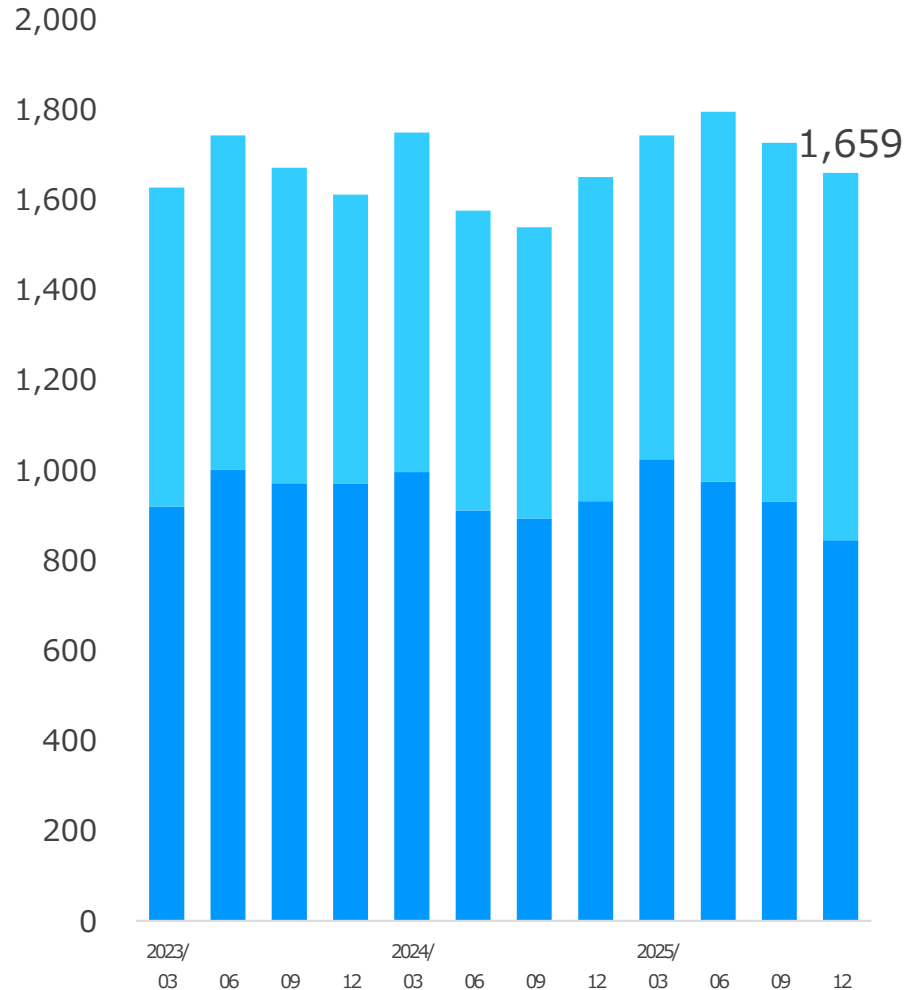
(億円) ■ 定期預金 ■ 流動性預金



(※) 数値は現地通貨に2025年12月末レート（1インドネシアルピア=0.0094円）を乗じて表示



(億円) ■ 定期預金 ■ 流動性預金

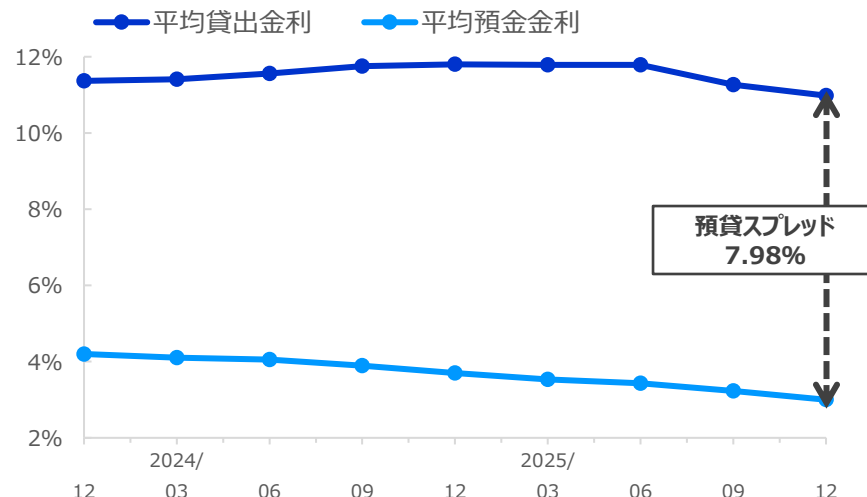


(※) 数値は現地主要流通通貨（USドル）に2025年12月末レート（1USドル=156.56円）を乗じて表示

銀行業の預貸スプレッド（韓国の貯蓄銀行2行）

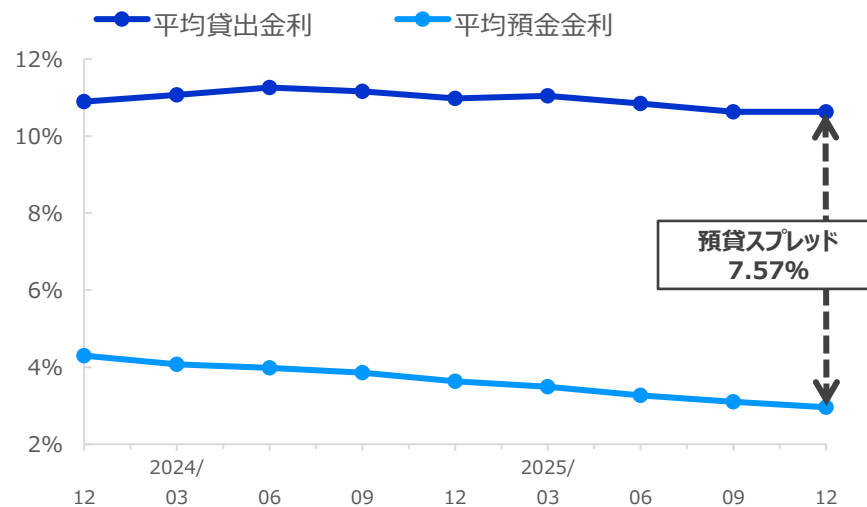
JT 親愛貯蓄銀行

	平均預金金利	平均貸出金利	預貸スプレッド
2023年12月	4.20%	11.37%	7.17%
2024年3月	4.10%	11.41%	7.31%
2024年6月	4.05%	11.56%	7.51%
2024年9月	3.89%	11.75%	7.86%
2024年12月	3.70%	11.80%	8.10%
2025年3月	3.53%	11.79%	8.26%
2025年6月	3.43%	11.79%	8.36%
2025年9月	3.23%	11.27%	8.04%
2025年12月	3.00%	10.98%	7.98%



JT 貯蓄銀行

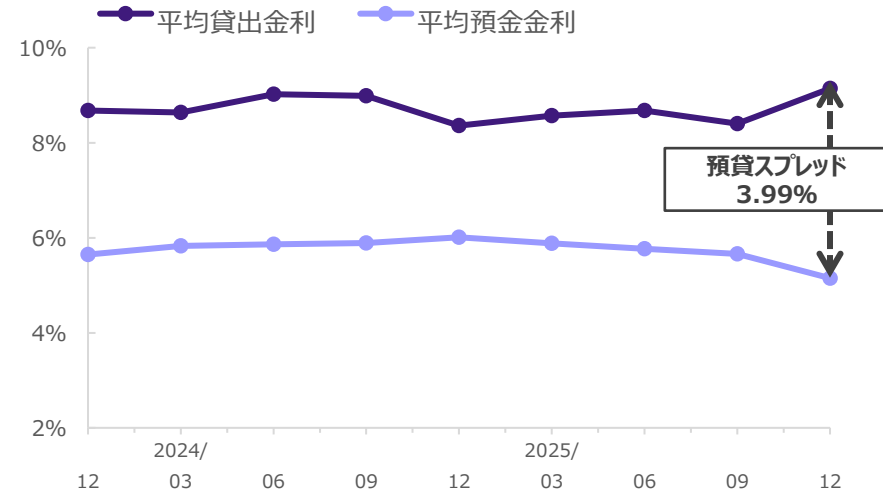
	平均預金金利	平均貸出金利	預貸スプレッド
2023年12月	4.30%	10.89%	6.59%
2024年3月	4.07%	11.07%	7.00%
2024年6月	3.98%	11.26%	7.28%
2024年9月	3.86%	11.16%	7.30%
2024年12月	3.63%	10.98%	7.35%
2025年3月	3.49%	11.04%	7.55%
2025年6月	3.27%	10.84%	7.57%
2025年9月	3.10%	10.63%	7.53%
2025年12月	2.96%	10.53%	7.57%



銀行業の預貸スプレッド（東南アジアの銀行2行）

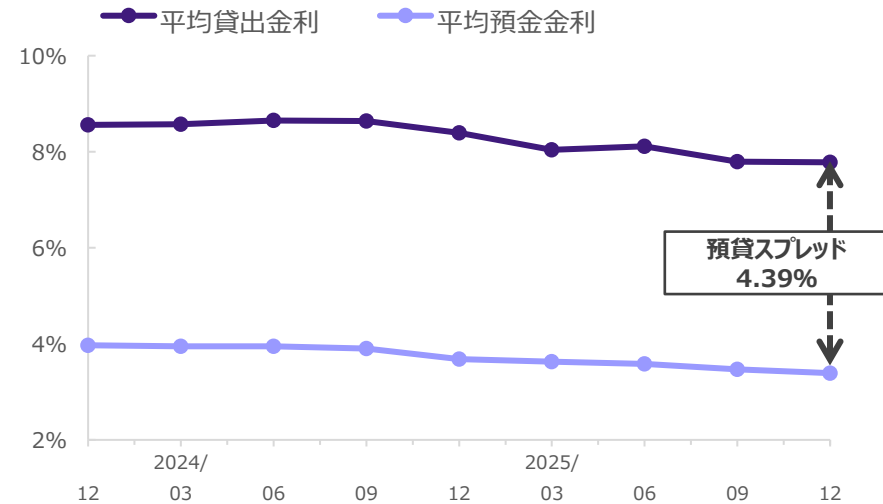
J TRUST BANK（インドネシア） Jトラスト銀行

	平均預金金利	平均貸出金利	預貸スプレッド
2023年12月	5.65%	8.68%	3.03%
2024年3月	5.83%	8.64%	2.81%
2024年6月	5.86%	9.02%	3.16%
2024年9月	5.89%	8.99%	3.10%
2024年12月	6.01%	8.36%	2.35%
2025年3月	5.88%	8.57%	2.69%
2025年6月	5.77%	8.68%	2.91%
2025年9月	5.66%	8.40%	2.74%
2025年12月	5.15%	9.14%	3.99%



J Trust Royal Bank（カンボジア）

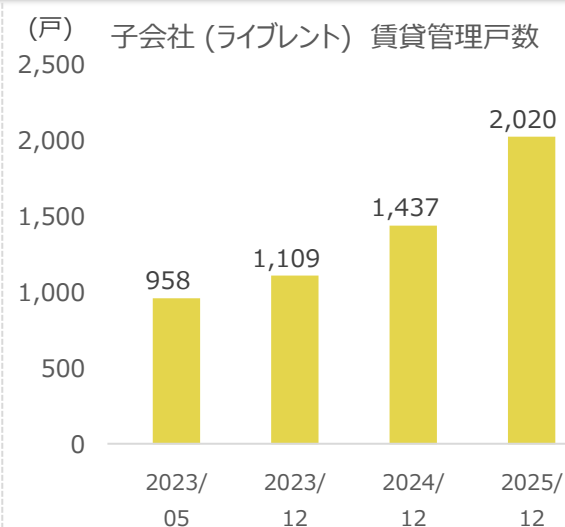
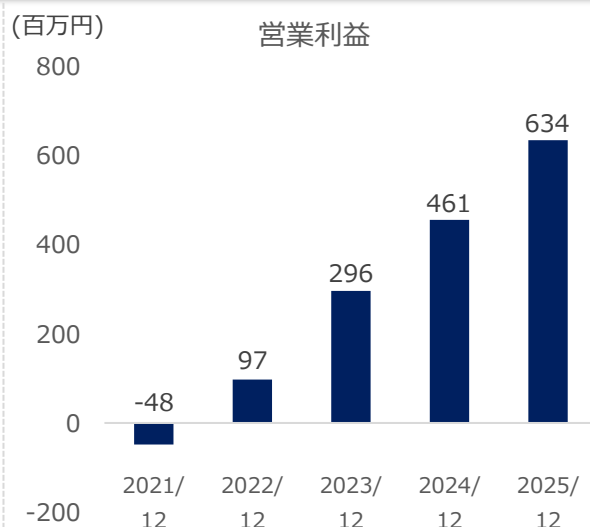
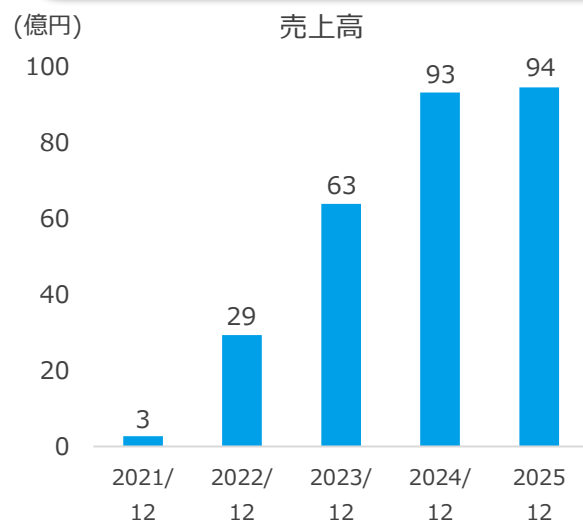
	平均預金金利	平均貸出金利	預貸スプレッド
2023年12月	3.97%	8.56%	4.59%
2024年3月	3.95%	8.57%	4.62%
2024年6月	3.95%	8.65%	4.70%
2024年9月	3.90%	8.64%	4.74%
2024年12月	3.68%	8.39%	4.71%
2025年3月	3.63%	8.04%	4.41%
2025年6月	3.58%	8.11%	4.53%
2025年9月	3.47%	7.79%	4.32%
2025年12月	3.39%	7.78%	4.39%



不動産事業の取り組み



- 2025年度の売上94億4,506万円、営業利益は過去最高値を更新し、6億3,449万円
- 設立から5年目で純資産11億円達成
- 2026年度は、総合不動産業を目指し更なる飛躍へ
- 不動産特定共同事業によるクラウドファンディング第1号は、11月10日の募集(1億3,000万円)が37秒で完売



シリーズ		現在販売物件 / 概要		来期販売予定物件 / 概要	
J-ARC 新築マンションシリーズ	今期16棟竣工予定	下北沢	RC造 4階 7戸	道灌山	RC造 5階 10戸
		目白御留山	RC造 4階 15戸	白金高輪	RC造 5階 8戸
		瀬田	RC造 5階 10戸	不動前II	RC造 4階 12戸
		三軒茶屋III	RC造 地下1階地上3階 7戸	池袋	RC造 4階 8戸
J-Maison 新築アパートメントシリーズ	今期6棟竣工予定	越谷	木造 3階 12戸	玉川学園前	木造 3階 15戸
		北戸田I	木造 3階 12戸	北大宮	木造 3階 12戸
		北浦和	木造 3階 12戸	南浦和I	木造 3階 15戸

- 子会社ライブレントの賃貸管理事業
売上2億1,049万円 営業利益3,280万円 **本年度黒字化**
- 子会社グランド保証 **設立初年度から黒字化**

